

C I A、ウィキリークス公開の文書の真正さ認めず

(スプートニク 2017年03月09日 17:50)

◎ 写真: Jagz Mario <https://goo.gl/Gg6r0r>

中央情報局 (C I A) は、サイト「WikiLeaks」がC I A本部から手に入れ、公開したという文書やファイルの真正を確認することを拒んだ。フランス通信が報じた。

C I Aのヘザー・ホーニアク報道官は、「こうした文書公開は米国市民や作戦実行を危険にさらすだけでなく、敵対勢力に対してわれわれに害を加える道具や情報を与える」と述べた。

内部告発サイト「WikiLeaks」は7日、C I Aから流出した文書「Vault 7」の公開を始めた。「Year Zero」という名の一連の流出ファイルの第1部には8,761個の文書が含まれている。

<http://sptnkne.ws/dJKK>

ロイター、ウィキリークスへのC I A文書の可能性のある漏洩源を報じる

(スプートニク 2017年03月09日 18:31)

◎ AFP 2017/ Philippe Huguén <https://goo.gl/n0Zu88>

中央情報局 (C I A) の電子機器ハッキングに関する機密文書の流出源は、契約に基づき情報機関と作業した民間人かもしれない。流出源の身元は現在特定中だ。C I Aと警察関係者がロイターに伝えたところ、情報機関は去年末すでに、機密データの流出を疑っていた。その懸念は今週、WikiLeaks が 8,700 件以上の文書を公開したことで確認された。関係者はロイターに、公開された2013年から16年の資料はおそらく真正であると伝えた。ウィキリークスに流出したのは、C I Aのために契約を結んで作業を行った企業の関係者である可能性がある。現在、情報機関は関係者のうち機密資料へのアクセス権を持っていた人物を調べている。また、容疑者特定につながる可能性があるとして、それら人物のパスワード、電子メールが確認されている。

<http://sptnkne.ws/dJMH>

ラブロフ外相、ロシアの不均衡な軍事力増大との西側の主張を否定

(スプートニク 2017年03月09日 21:47)

◎ REUTERS/ Remo Casilli <https://goo.gl/H8cRV1>

ロシアのラブロフ外相は、同国西部国境でロシアが軍事力を不均衡に拡大しているとの、西側による主張を否定した。ロシアのラブロフ外相はドイツのガブリエル外相との会談の後、「我々がロ

シヤ連邦西部において不均衡に軍を拡大しているとの主張に関しては、あのですね、我々には異なる統計がある。」

ラブロフ外相は非難する代わりに、ロシア・NATO理事会の枠組みで集まり、「欧州大西洋の安全保障の分野における情勢」を見て、「誰が、どこで、何を展開しているのか、目録を作る」ことを提案した。

<http://sptnkne.ws/dJRm>

クレムリン、ロシア・トルコ首脳会談の幅広い議題を発表

(スプートニク 2017年03月09日 21:00)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/Raqvmx>

モスクワで間もなく開催のプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領の首脳会談の議題は、メガプロジェクトの実現化から、シリア危機解決の安全保障問題やロシアのアンドレイ・カルロフ駐トルコ大使殺害の調査の進行まで、最大限に広範なものになる。ロシア大統領府のペスコフ報道官が発表した。

ペスコフ報道官は、双方が「貿易・経済協力、議題となっているメガプロジェクト、つまり『トルコストリーム』の実現化、アックユ原子力発電所 建設プロジェクトの実現化」について話し合うと指摘した。

先に伝えられたところでは、トルコの首都アンカラで、ロシアのアンドレイ・カルロフ駐トルコ大使の殺害に関与した疑いで33歳のロシア国籍の女が逮捕された。

<http://sptnkne.ws/dJUs>

「アンフェタミン漬けのヒトラー」ヒトラーのG I F画像がネットで大人気

(スプートニク 2017年03月09日 21:32)

© Sputnik/ <https://goo.gl/KNgndT>

海外の掲示板サイト「Reddit」で、ナチス党首のヒトラーがスタジアムの観客席に座りながら神経質に揺れている様子が見られるG I F画像が人気を博している。

「アンフェタミン使用の兆候のヒトラー」という題した投稿には、2万8千人以上の掲示板利用者が投票した。また、2,000以上のコメントが書かれている。

画像を冗談だと受け止めなかったユーザーは、映像が撮られたとみられる 1936 年のベルリン夏季五輪の時点でヒトラーがすでに麻薬中毒になっていたことに疑問を呈していた。なぜなら、メタンフェタミン製剤のペルピチンが広く流通するのは、1938 年になってからだったからだ。しかし、麻薬化合物をヒトラーが服用し始めたのはまさに 1936 年だということが知られている。

twitter.com/ <https://goo.gl/ZqxMLg>

<http://sptnkne.ws/dJUu>

露大統領府、米国がプーチン大統領の「盗聴」を試みたという情報に注目する

(スプートニク 2017 年 03 月 09 日 22:09)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/Wzhgcp>

ロシア大統領府は、米国がプーチン大統領を「盗聴」しようとしたとする情報をについて、注目すべきものだとの判断を下した。ロシアのペスコフ大統領報道官が、記者団に明らかにした。

ペスコフ氏は「すべての国際社会と一緒に我々も当然公開された情報に注目した。もちろん、それらは注目に値するものであり、細かく吟味する必要がある」と述べた。

またペスコフ報道官は、米国はロシアの政府関係者を積極的に盗聴していることを隠してはいないとし、その例としてセルゲイ・キスリャク駐米ロシア大使を挙げた。

ペスコフは「これを隠すものは誰もいない。そのためウィキリークスも隠す必要はなく、推測してもいいのだ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dJVp>

米テレビ局大手、選挙報道へのアプローチ見直しへ

(スプートニク 2017 年 03 月 09 日 22:37)

© REUTERS/ Adrees Latif <https://goo.gl/EMqeDe>

米テレビ局大手 4 局の一つ、NBC テレビは、11 月の米大統領選挙で勝者を予測することができなかった。同テレビ局はこの「大失敗」を受け、選挙報道へのアプローチを見直す。NBC ニュースのアンディ・ラック社長が明らかにした。

社長は「ポリティコ」のインタビューで、ニュースメディアは選挙結果を当てることができなかったとし、「私は 6 日夜にすべてがこのように終わると考えていた人物を一人も知らない」と述べた。

た。社長によると、「民主主義は複雑なもの」だという。

社長は、NBCは世論調査の使用を見直す方針であることを明らかにし、「我々はあまりにも世論調査を当てにしてしまい、ミシガン州、ペンシルベニア州、オハイオ州からの独自の良いレポートが不十分だった」と説明した。

<http://sptnkne.ws/dJW7>

中国、ロシアの支援を受けて世界初の民間用潜水艦建造へ

(スプートニク 2017年03月09日 23:13)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <https://goo.gl/hfI3J3>

中国はロシアの学者たちの助けを借りて年内までに民間目的用の世界初の潜水艦の建造を完了する計画。チャイナデイリーが報じた。チャイナデイリーによると、Tianjin Ostar Underwater Vehicles Co が、ロシアの研究機関の支援を受けて潜水艦の開発を行っている。

潜水艦の定員は20~40人、潜航深度は24メートル。Tianjin Ostar Underwater Vehicles Coによると、開発が完了した潜水艦は、ベトナム、タイ、ギリシャ、トルコなどで観光目的のために使用することができるという。

<http://sptnkne.ws/dJXB>

THAADの韓国配備は軍拡競争を引き起こす恐れがある—露外務省

(スプートニク 2017年03月10日 01:24)

© AP Photo/ U. S. Force Korea <https://goo.gl/bKPTtS>

韓国へのミサイル防衛システム配備は、朝鮮半島の核問題解決を複雑にし、地域でミサイルを含む軍拡競争を引き起こす恐れがある。ロシア外務省が発表した。

外務省の声明では「このような出来事的发展は、国際的および地域の戦略的安定性にとって最も深刻でネガティブな結果を伴う。安全保障分野で複雑な状況が形成されたアジア太平洋地域には、朝鮮半島の核およびその他の問題の解決をさらに複雑にし、地域でミサイルを含む軍拡競争を引き起こす恐れのある新たな破壊的要因が生まれつつある」と述べられている。

<http://sptnkne.ws/dJZ8>

インド、ロシアに第5世代戦闘機の技術提供を求める

(スプートニク 2017年03月10日 01:35)

© AFP 2017/ Dmitriy Kostyukov <https://goo.gl/y84D06>

インドは、最新の第5世代戦闘機（F G F A）に関するロシアとの共同作業に同意したが、ロシアがインドに専門家の技術をすべて提供した場合にのみ作業を続けるとの条件を提示した。ザ・タイムズ・オブ・インドが、インド国防省筋の情報を引用して報じた。

消息筋は、インド指導部が前回の戦闘機 Su-30MKI 製造契約での過ちを繰り返すのを恐れていると主張している。同契約では技術供与は規定されていなかった。

消息筋によると、このようなシナリオを回避することが「ハイレベル」で決定され、インドは2つの重要な条件を提示した。一つは、将来的にインドが独自に戦闘機の近代化するのに十分な規模で技術が提供されること。2つ目は、技術提供がインドの中型第5世代戦闘機（AMCA）の独自プロジェクト開発に役立つこと。

先に伝えられたところによると、ロシアとアラブ首長国連邦（UAE）は軍事技術協力関係発展に関する合意書に調印した。例を挙げると双方はその枠組で、第5世代新型戦闘機開発に取り組むことになる。

<http://sptnkne.ws/dKcF>

ウィキリークスはIT企業にCIAのハッキングツールに関する情報を提供するーアサンジ氏

(スプートニク 2017年03月10日 03:02)

© AFP 2017/ Ben Stansall <https://goo.gl/MjzT6u>

内部告発サイト「ウィキリークス」は、同サイトが入手した米中央情報局（CIA）のハッキングツールに関する情報への排他的アクセスをIT企業に提供する。「ウィキリークス」の創設者ジュリアン・アサンジ氏が明らかにした。

アサンジ氏は「ウィキリークスにはサイバー兵器に関するプログラムをめぐるはるかに多くの情報があるため、我々は彼ら（IT企業）と作業し、彼らがしかるべき措置を練り上げることができるようにするため、我々が持っている更なる技術的詳細への排他的アクセスを彼らに提供することを決めた」と述べた。

3月7日、内部告発サイト「ウィキリークス」は数千件の文書を公開した。米情報機関のハッキングツールが明らかになったとされている。

文書では特にコンピューターやスマートフォンを狙ったウイルス、また「スマート」テレビを「盗聴器」に変えるソフトウェアなどについて述べられている。

米連邦捜査局（F B I）と米中央情報局（C I A）は、機密情報流出について刑事事件として合同捜査を開始した。米メディアによると、密告者あるいはスパイが存在する可能性があるという。

<http://sptnkne.ws/dKgX>

カルロフ露大使殺害犯、米大使殺害も準備していた可能性

（スプートニク 2017年03月10日 07:03）

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/TeXZNi>

トルコ検察がロシアのアンドレイ・カルロフ駐トルコ大使を殺害した犯人を調査したところ、新たな情報が浮かび上がった。

トルコ紙『ミッリエト（Milliyet）』が報じるところ、元警官、メブリュト・メルト・アルトゥンタシュ容疑者のコンピューターを調べると、容疑者は犯行前日にカルロフ大使の情報をインターネットで調べるのと並行して、米国のジョン・バース駐トルコ大使の詳細な情報も検索していたと明らかになった。

さらに、容疑者はアンカラにおけるロシアと米国の文化センターの活動に関する情報も収集していた。これらのデータは、容疑者が米国のバース大使殺害も並行して準備していた可能性があることを示している。

トルコの首都アンカラで12月19日、ロシアのアンドレイ・カルロフ大使が銃撃された。大使は銃撃で負った傷が原因で死亡した。露外務省は今回の事件を、テロ行為だと指摘した。ロシア大統領府は、トルコでのロシア大使殺害について、シリアの平和的解決のための尽力を阻止することを目的としていたと発表した。

<http://sptnkne.ws/dKnm>

トランプ政権、WTOを巻き込み、日本に狙い定め

（スプートニク 2017年03月10日 07:48）

© REUTERS/ Lucas Jackson <https://goo.gl/r1L3uy>

トランプ米政権が、日本の自動車と農産物の市場開放を求める意見書を世界貿易機関（WTO）に提出したことが9日、分かった。自動車の非関税障壁や農産物の高関税を問題視し、安倍政権に

よる「大胆な改革」を求めている。4月中旬にも始まる日米経済対話で、米側が自動車と農産物の市場開放を日本に迫る可能性が一段と高くなった。

意見書は8日付。日本の貿易政策を審査するWTOの会合に合わせて提出した。他のWTO加盟国に日本市場が閉鎖的だと訴えるのが狙いとみられる。日本市場に関するトランプ政権の具体的な問題意識が明らかになるのは初めて。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dKkn>

核実験場で活動継続＝米研究所が人工衛星画像－北朝鮮

(スプートニク 2017年03月10日 10:01)

◎ REUTERS/ KCNA <https://goo.gl/JpxhTH>

米ジョンズ・ホプキンス大高等国際問題研究大学院の米韓研究所は9日、北朝鮮北東部・豊溪里にある核実験場の最新の人工衛星画像を公開した。北側坑道や管理エリアで活動が続いており、「核装置や監視機材が配置されれば、すぐにでも核実験が実行可能であることを示している」と分析している。

7日に撮影された北側坑道の画像では、2月18日と21日の画像にあった機材が、船の大型コンテナのように見える物体に置き換えられるなどの変化が確認された。同研究所は、過去6ヵ月間に見られた動きも踏まえ、補修および新たな核実験に向けた準備作業は進んでいるものの、「いつ実験が行われるかは予測できない」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/dKnn>

プーチン大統領、治安関係省庁から将軍10人を解任

(スプートニク 2017年03月10日 10:59)

◎ Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/XQcfbd>

プーチン大統領はロシア内務省、捜査委員会、連邦刑執行庁から将軍10人を解任した。大統領令はプーチン大統領によって署名され、法律情報の公式インターネットポータルに公開された。大統領令によってまた、セルゲイ・レゴスタエフ氏がチュヴァシ共和国検事の役職から、リディヤ・ディヤコワ氏がユダヤ人自治区検事の役職から解任された。今回の人事異動が何と関係したものは報じられていない。

<http://sptnkne.ws/dKns>

台湾人8人がダーイシュ（通称、I S）に傾倒の疑い

（スプートニク 2017年03月10日 12:36）

© Flickr/ Alex Lin <https://goo.gl/8HgJJ6>

台湾国家安全局は9日、イスラム過激派組織「イスラム国（I S）」に傾倒している疑いのあるとして監視を続けている8人について、いずれも台湾人で、精神状態が不安定であることを立法院（国会）外交および国防委員会で明らかにした。今後も引き続き監視するとしている。

同局は昨年、I Sに傾倒している疑いのある人物が台湾に8人いることを立法院で報告していた。

この日の質疑応答では、今年8月に開催されるユニバーシアード台北大会を通じてI S支持者が台湾入りする可能性についての質問が上がった。同局の彭勝竹局長は、昨年4月から情報の把握を開始していると対応策を説明。I Sに関係する人物のリストを入手していることにも触れ、入国管理を徹底するよう移民署に要請すると述べた。

台湾では先月、出稼ぎ労働者として滞在していたインドネシア女性がI Sに関係しているとの疑いで強制送還された。中央通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dKnt>

ペンス米副大統領 CIA資料漏洩の犯人発見を約束

（スプートニク 2017年03月10日 14:27）

© AFP 2017/ Saul Loeb <https://goo.gl/GYxI2C>

米国のペンス副大統領は、CIAがどのように諜報活動をしているかについて、資料を漏らした犯人を捜し出すために努力を惜しまないと約束した。ペンス副大統領は、Fox News. のインタビューに応じた中で「我々は、諜報メソッドと国家安全保障を台無しにする可能性のあった情報を漏らした者達を起訴するため、いかなる力も惜しまない」と述べた。

副大統領によれば、もし公開された文書の信憑性が確認できれば「国家安全保障を損なう最も顕著な例の一つになる」とのことだ。ペンス副大統領は、情報漏洩の罪は、その治世化に事件が発生したオバマ前政権にあると述べた。なお副大統領は、公開された文書の信憑性について確認できないとしている。7日、ウィキリークスは米中央情報局（CIA）に関する「流出した」一連の資料の公開を始めた。資料のコード名は「Vault 7」。 <https://goo.gl/KOBdSR>

<http://sptnkne.ws/dKrA>

アサンジ氏 ロシア政府及びR Tから金を受け取ったことは一度もない

(スプートニク 2017年03月10日 15:57)

© AP Photo/ Barbara Ortutay <https://goo.gl/BuRi48>

内部告発および情報漏洩の情報を伝えるウェブサイト、ウィキリークスの創設者、ジュリアン・ポール・アサンジ氏は、ロシア政府及びテレビR Tから支払いを受けたことは一度もないと明言した。

先にウィキリークスは、サイバー諜報センターの内部ネットワークに保存されていた8,700以上の文書やファイルを公表した。なおウィキリークスによれば、最初に公表された部分は、文書全体の1%にも満たない。

アサンジ氏は、記者会見で「ロシア政府あるいはテレビR Tから支払いを受けた事があるか」とのABCニュースのブライアン・ロックス記者の質問に対し「答えはノーだ」と述べ「ウィキリークスの大規模な公表から注意をそらそうとする、かなり悲しい質問だ」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/dKrH>

イスタンブールでヘリコプター墜落 犠牲者も【写真・動画】

(スプートニク 2017年03月10日 21:04)

© 写真: DHA <https://goo.gl/a1xCZB>

トルコの最大都市イスタンブールのブユックチェクメジェ地区にヘリコプターが墜落した。現場には消防や救急車が到着した。トルコのマスコミによると、濃い霧で視界が悪かったのが原因だという。

twitter.com/ <https://goo.gl/LfLXq0>

ハサン・アクギン区長がテレビ局NTVに語ったところによると、ヘリコプターはテレビ塔の至近距離に墜落した。区長は、事故現場では少なくとも5人の遺体が発見されたと述べた。また区長は、墜落したのは消防ヘリコプターではない可能性もあると指摘した。通信社DHAは、ヘリコプターには7人が搭乗していたと報じている。

twitter.com/ <https://goo.gl/jSD3N9>

<http://sptnkne.ws/dKH3>

通信社DHA：イスタンブールで墜落したヘリコプターにはロシア人4人が搭乗していた【中継】

(スプートニク 2017年03月10日 20:15)

◎ 写真: DHA <https://goo.gl/whuh3D>

トルコのDNA通信によれば、イスタンブールで墜落したヘリコプターには、ロシア市民4人が乗っていた。

動画 <https://goo.gl/zaN03Q>

このヘリコプターはエジザジュバシュ・ホールディング所有のもので、イスタンブールのアタチュルク空港を飛び立った後、現地時間で11時21分、同市内のブユックチェクメジェ地区に墜落した。ヘリコプターには、パイロット2名、乗客5名（ロシア人4人・トルコ人1人）の計7人が乗っていた。この事故により、ハイウェイのD100号線が不通となった。

最新情報によれば、ヘリにはホールディングに属する Vitra Rusya 社の支社長サリム・オゼン氏が搭乗していた。

<http://sptnkne.ws/dKvd>

スプートニク&RTのシモニャン編集長 独財務相の批判に答える

(スプートニク 2017年03月10日 19:30)

◎ Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/S4Xwxu>

テレビRTとスプートニク通信のマルガリータ・シモニャン編集長は「RTは、嘘ニュースを拡散している」とのドイツのショイブレ財務相の発言にコメントした。

先にショイブレ財務相は「ロシアはプロパガンダ戦争をしている」と述べ「ロシア政府は、朝から晩までRTが流しているウソのニュースの助けを借りて、世界における自分達の権威を高めようとしている」と批判した。

これに対しシモニャン編集長は「よくあるRTについてのでっち上げが、ドイツの財務大臣によるものだというのが面白い。次は、保健大臣がなさるのか、それとも観光大臣なのか期待している」とコメントした。

RTは、嘘を伝えていると非難されているが、その具合的実例は何も示されていない。これについてシモニャン編集長は「それができないのは、嘘だと証拠立てるものがないからだ」と指摘した。

これより前、シモニャン編集長が、ロシアのハッカーらが米国での検索システムユーザーをRT

のサイトに転送したとの米上院議員の発言にコメントした。

<http://sptnkne.ws/dKww>

アサンジ氏「文書漏洩はC I Aの破滅的素人ぶりを示すもの」

(スプートニク 2017年03月10日 19:36)

© AFP 2017/ Philippe Huguen <https://goo.gl/vmwtQg>

内部告発サイトWikiLeaks（ウィキリークス）の創設者、アサンジ氏は「C I A文書の漏洩は、この機関の破滅的な素人ぶりを示すものだと指摘した。

先にウィキリークスは、ヴァージニア州ラングレーのC I A本部に本拠を置くサイバー諜報センターの内部ネットワークに保存されていた、8,700以上もの文書やファイルを公表した。ウィキリークスによれば、最初に発表された部分は、文書全体の1%にも満たない。

アサンジ氏は、記者会見の中で「これは、C I Aが破滅的な素人だとの歴史的事実だ。ああしたレベルの兵器庫を作りながら、一つの場所にそれを保護することなく保管していた」と述べ「C I Aは、サイバー兵器庫全体に対するコントロールを失った」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/dKwR>

露外務省：トルコでのヘリコプター事故でロシア市民4人の死亡を確認

(スプートニク 2017年03月10日 22:10)

© AP Photo/ Cem Bakirci <https://goo.gl/AsIDH8>

露外務省は、イスタンブールでのヘリコプター墜落事故の結果、ロシア人4人が亡くなったことを確認している。露外務省担当局がTwitterの中で伝えた。その中では「トルコのイスタンブールでヘリコプターが墜落し、4人のロシア人を含め5人が死亡、2人が負傷した」と述べられている。

[twitter.com/ https://twitter.com/MID_travel/status/840143817797910528](https://twitter.com/MID_travel/status/840143817797910528)

最新情報によれば、ヘリにはホールディングに属するVitra Rusya社の支社長サリム・オゼン氏が搭乗していた。

<http://sptnkne.ws/dKwX>

米専門家 北朝鮮が新しい核実験を準備か

(スポーツニク 2017年03月10日 20:06)

© AFP 2017/ Jung Yeon-Je <https://goo.gl/XKxENu>

最新の衛星写真によれば、北朝鮮北東部・豊溪里（プンゲリ）の核実験場地区での動きが活発化しているが、この事は、北朝鮮当局が、6回目の核実験を準備していることを証拠立てている。米ジョン・ホプキンス大学付属アメリカ・コリア研究所 38 North のサイトが伝えた。

サイトでは、次のように述べられている—

「こうした活動の特質は、北朝鮮が将来の核実験用に北ポルタルでトンネルの準備を続けているとの意見を裏付けるものだ。プンゲリ実験場では、核装置やそれに関連した制御機器が据え付けられ次第直ちに6回目の実験が行われる可能性がある。」

実験場では、倉庫のある地区から補助的な場所やトンネルに装置や資材が運ばれていることが確認されている。分析された衛星写真は、7日に撮影されたものだ。

朝鮮民主主義人民共和国は現時点までにすでに合計5度の核実験および20回以上の弾道ミサイル打ち上げ実験を行っている。

<http://sptnkne.ws/dKx8>

米国体操連盟 性的スキャンダルにより認可取り消しか

(スポーツニク 2017年03月10日 21:14)

© AP Photo/ Jeff Roberson <https://goo.gl/QI277G>

米カリフォルニア州の法律家ジョン・マンリー氏は、米国オリンピック委員会に公開書簡を送り、女子選手に対するセックス・スキャンダルにより、米体操連盟の認可を取り消すよう訴えた。委員長あての書簡の中で、マンリー氏は「元チームドクター、ラリー・ナサール及び数人のトレーナーからなされた性的暴力の犠牲者となった70人以上の少女と女性の名において」彼らを告発している。

マンリー氏によれば、新聞「インディアナポリス・スター」のジャーナリスト達が行った調査は、同じ時期に、女子体操のトレーナー達が、360回以上生徒達にセクハラ行為をしたことを示した。

1996年から2015年まで米体操ナショナルチームの医師を務めていたナサール被告は、現在「収監され、児童に対する性的虐待及び児童ポルノ所持の罪で裁判を待っている」。

先に伝えられたところでは、2018年、カフェインが世界反ドーピング機関（WADA）の禁止リ

ストに入る可能性がある。

<http://sptnkne.ws/dKzX>

露外務省は韓国での政治危機が露韓関係に影響を及ぼさないと確信している

(スプートニク 2017年03月10日 21:44)

© Sputnik/ The Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation <https://goo.gl/wk4SLf>

ロシア外務省のザハロワ報道官は10日、ブリーフィングで韓国の朴大統領の弾劾についてコメントし、ロシアは韓国での出来事の成り行きを注視しており、韓国での政治危機が露韓関係に影響を及ぼさないと確信していると述べた。

報道官は「憲法裁判所が3月10日に大統領の弾劾に関する国会の決定を支持した韓国での出来事を注視している」と述べ、「(我々は)韓国内政危機が一刻も早く克服されることを期待しており、この危機が何らかの形で露韓関係が到達したレベルに影響を及ぼすことは恐らくないと確信している」と語った。

先の報道では、韓国憲法裁、朴大統領の弾劾確定。

<http://sptnkne.ws/dK3d>

エルドアン大統領、ロシアとの協力について語る

(スプートニク 2017年03月10日 22:54)

© Sputnik/ Alexej Druschinin <https://goo.gl/xV3dRJ>

トルコのエルドアン大統領はロシアのプーチン大統領との会談で、ロシアとトルコの協力について、その主な要素は軍産複合体とエネルギーだと述べた。またエルドアン大統領はプーチン大統領との間で少人数の会談を行い、「『トルコストリーム』と原発『アックユ』のプロジェクトについてだが、協力は再び軌道に乗り、ますます発展している」と述べた。

先の報道では、モスクワで間もなく開催のプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領の首脳会談の議題は、メガプロジェクトの実現化から、シリア危機解決の安全保障問題やロシアのアンドレイ・カルロフ駐トルコ大使殺害の調査の進行まで、最大限に広範なものになる。

<http://sptnkne.ws/dK4Y>

カイロ郊外で考古学者らラムセス2世の像を発見【写真】

(スプートニク 2017年03月11日 01:17)

© AP Photo/ Nariman El-Mofty <https://goo.gl/yi0v7f>

エジプトで、3000年以上前にエジプトを統治したファラオ、ラムセス2世の像と思われる高さ8メートルの像が発見された。この像は、首都カイロ東部の現在は労働者階級の住宅地で、かつては古代都市ヘリオポリスがあった場所の、ラムセス2世が建造した太陽の神殿跡地付近で見つかった。ロイター通信が伝えた。

ラムセス2世は古代エジプト第19王朝3代目のファラオ（王）で、紀元前1279—紀元前1213年に在位し、エジプトの領土をシリアからヌビアの範囲まで拡大するなど、古代エジプトで最も力を持った王として知られる。

像は、今から3000年以上前のものと見られている。発見にたずさわったのはエジプトの他、ドイツの学者達だった。エジプト考古省は、今回の発見を、同国の歴史上最も重要なものの一つと高く評価している。

エジプトのカレド・アル・アナニ考古相が記者団に述べたところでは、像は石英岩で作られ、7日火曜日に発見された。考古相によれば「我々が見つけたのは、上半身と頭の部分で、すでに頭を掘り出し、左右の耳と右目の一部も発見した。

[twitter.com/ https://goo.gl/KtfTR4](https://twitter.com/KtfTR4)

現場では、今も発掘作業が続けられている。

[twitter.com/ https://goo.gl/4n9mPQ](https://twitter.com/4n9mPQ)

先の報道では、イラク軍の部隊とクルド人治安部隊ペシュメルガは、ダーイシュ（イスラム国、IS）戦闘員によって破壊された古代都市ニムルドの瓦礫の下から、アッシリア王エサルドアンの神殿を発見した。

<http://sptnkne.ws/dK5T>

日露 原子力プロジェクト協議の用意

(スプートニク 2017年03月10日 23:51)

© Sputnik/ Grigoriy Sisoiev <https://goo.gl/2VmX9W>

日本は、4月初めのロシアの国営原子力企業「ロスアトム」のアレクセイ・リハチョフ社長の訪

日を心待ちにしており、原子力領域における協力問題に関する世耕弘成経済産業相との交渉に期待を寄せている。経産省石油・天然ガス課の代表は、スプートニク記者にこのように伝えた。

昨年12月、ロシアと日本は、原子力エネルギーの平和利用分野における協力に関する覚書に調印した。この文書は、ユニークなロシアの技術を適用できる様々な分野での共同プロジェクト発展の法的基盤を創り出した。

露日協力のカギを握る重要な分野として、覚書では、放射性廃棄物や廃炉上で可能な作業の管理を含む、福島第一原子力発電所事故の処理作業などが挙げられている。

<http://sptnkne.ws/dK7r>

韓国の弾劾裁判で罷免を言い渡した裁判官、頭にカーラーを巻いたまま…【写真】

(スプートニク 2017年03月11日 02:31)

© REUTERS/ Kim Hong-Ji <https://goo.gl/FpsNMo>

韓国の弾劾裁判で罷免を言い渡した憲法裁所長代行の李貞美（イ・ジョンミ）裁判官が、頭にカーラーを巻いたまま裁判所入りし、勤勉な女性のシンボルとなった。AP通信が報じた。AP通信は、大勢の韓国人がこの忘れられたカーラーを無頓着ではなく、仕事への献身と感じたと指摘している。裁判官のカーラーは、韓国の検索エンジンでトップとなり、朴大統領の弾劾は2番目だという。

twitter.com/ <https://goo.gl/j6NiXW>

<http://sptnkne.ws/dKAN>

今年ロシア航空宇宙軍に新型戦闘機スホイ 34 型 16 機供給

(スプートニク 2017年03月11日 04:42)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <https://goo.gl/cRdE8U>

2017年、ロシア航空宇宙軍は、新型戦闘爆撃機スホイ 34 型機、16 機を受け取る。ユーリイ・ボリソフ国防次官が、チカロフ記念ノボシビルスク航空機工場を訪問した際、記者団に明らかにした。

ボリソフ国防次官は、次のように述べた—

「ノボシビルスク航空機工場は、スホイ 34 型機 92 機の長期契約を国防省との間で結んでいるが、期限より事実上1年早く、契約は遂行されつつある。今年我々は、4機の超過供給を期待

している。今年の注文分は全部で 16 機だ。」

ボリス国防次官によれば、現在工場で最終組み立て段階にあるのは、9 機だ。次官はまた、スホイ 34 の高い性能について指摘した—

「スホイ 34 は、シリア紛争で自分の最も優れた面を示した。改良されたことで巨大な潜在力を有し、事実上新世代の戦闘機となっている。」

先の報道では、今年ロシア航空宇宙軍及び海軍航空隊は、およそ 160 機の航空機やヘリコプターを受け取る。

<http://sptnkne.ws/dKGZ>

マスコミが大統領罷免に朴氏反応について報道

(スプートニク 2017 年 03 月 11 日 05:30)

◦ REUTERS/ Kim Hong-Ji <https://goo.gl/Rpyifz>

韓国の前大統領の朴槿恵氏は 10 日、憲法裁判所が裁判官の全員一致の罷免裁決を受け、黙り「話す言葉がない」と言い、自分の対応を説明しなかった。聯合ニュースが報じた。およそ 3 時間の会議では、これからの朴氏の私邸への移動や広報についての討議があったが、朴氏は自分の意見を表明せず、沈黙を続けた。

先に、朴氏は自分に結んだ疑惑は弾劾まで至らないという意見を指示した。しかし、昨年 12 月 9 日、韓国の国会で弾劾訴追案が可決後、朴氏は「血の涙が出るという言葉の意味がようやく分かった」と述べ、涙を見せた。朴氏は会議後、一人で官邸に残っているとされる。聯合ニュースによると、朴氏の関係者は「今日は静かに過ごしたいようだ」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/dKHZ>

露外務省：ロシアが「タリバン」に資金提供しているという声明はナンセンス

(スプートニク 2017 年 03 月 11 日 06:28)

◦ Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/y3eVK1>

ロシア外務省は、ロシアがアフガニスタンの反政府勢力「タリバン」に資金提供し、武器を供与しているとする声明について、ナンセンスだと指摘した。ロシア外務省が 10 日に発表した声明では、「ロシアをタリバンへの武器供与、同過激派組織への資金提供、さらにはアフガン領内で戦闘員を養成するキャンプの設立に協力しているとして非難している。いうまでもなく、これら全てはいか

なる証拠によっても裏付けされていない」と述べられている。

また声明では、「これらの不条理なでっち上げの数々の裏には、その過程でロシアによるアフガニスタンでの国際的な対テロ対策の『破壊』に関するテーゼをアフガンおよび国際社会に投げかける、我々の国の信用を失墜させるために画策されたキャンペーンが見受けられる」と指摘されている。

またロシア外務省は、このような声明の目的は16年以上に及ぶアフガニスタンでの外国部隊のプレゼンスによって生じた数多くのミスに対する責任から注意をそらすことにあると指摘している。

先の報道では、ロシアのラブロフ外相は、同国西部国境でロシアが軍事力を不均衡に拡大しているとの、西側による主張を否定した。

<http://sptnkne.ws/dKJb>

デービス報道部長 朴前大統領罷免、THAAD 韓国配備に影響

(スプートニク 2017年03月11日 12:07)

◎ 写真: U.S. Missile Defense Agency <https://goo.gl/CkxUd5>

米国防総省のデービス報道部長は10日、朴槿恵前大統領の罷免は米軍の最新鋭迎撃システム「高高度防衛ミサイル(THAAD)」の韓国での配備に影響を与えず、配備計画を進めたいと述べた。共同通信によると、デービス報道部長は「韓国政府との合意だ。米国は配備の取り組みを続ける」と主張した。

配備に反発する中国は、次期韓国政権に配備撤回を働き掛ける構え。北朝鮮も韓国の政権交代に活路を見いだしたい考えだが、デービス氏は韓国の内政事情が配備に影響すべきではないとの見方を示した。

<http://sptnkne.ws/dMfv>

独上院、移民送還法案を否定 メルケル政権に打撃

(スプートニク 2017年03月11日 13:08)

◎ AP Photo/ Markus Schreiber <https://goo.gl/950jQg>

ドイツ連邦参議院(上院)は10日、モロッコとアルジェリア、チュニジアの3カ国を新たに「安全な出身国」に指定して、この地域から入国した移民らを送り返すことを可能にする法案を否決した。

大量流入した難民や移民の対応に苦慮しているメルケル政権に打撃となりそうだ。共同通信が報じた。

法案は2015年末に北アフリカ出身とみられる男が集団で女性を囲んで性犯罪などに及んだ事件を受け、メルケル政権が提案。連邦議会（下院）が16年5月に可決し、上院で審議が続いていた。

<http://sptnkne.ws/dMfw>

韓国の弾劾は世界革命の一部のようなもの

（スプートニク 2017年03月11日 19:37）

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/n7DVGg>

韓国の朴槿恵大統領の弾劾は、世界で起こっているあらゆる出来事とどのような関連があるのだろうか？リベラル・グローバリズム勢力のほぼ至る所での崩壊、リーダーたちの大規模な選挙、始まった革命的時代などと、どのような関連があるのだろうか？

韓国の政治危機はまだ終わっていない。賄賂を理由とした政府に対する大規模な暴動がある。その理由はまず、朴大統領の政治に関する決定に友人である崔順実被告が影響を及ぼしたということであり、崔被告には約7,000万ドルの賄賂容疑がかけられている。

朴氏から何らかの決定を得たいと望む人は誰でも、崔被告の財団に寄付することができ、その資金がどこへ消えるかは崔被告が決めることだった。

ここで言うてしまうが、これは容疑にすぎない。窃盗容疑が政治と密接につながっている時、そのような話の時はいつも疑いを持つ必要がある。

近年「汚職」に関する叫びが様々な場所で大衆の起爆剤としてあまりにも頻繁に利用されたが、このような容疑が信用を呼ぶのは非常に稀だ。

これは外国人あるいは米国人がそこに寄付をして民主党政権から好意を得ることができたクリントン財団の話と似ている。これは民主党の失敗においてその役割を果たした。

革命の時代とは、人々が新聞を読んだり、新たな時代の到来を感じて大衆があらゆる手をつくしてたくさんの国で同時に政権を倒す時のことだ。1917年の2月から10月にロシアで起こった出来事の「世界史的役割」はフィクションではない。これらの出来事は大勢の人々を奮い立たせた。

<http://sptnkne.ws/dKPB>

プーチン大統領「ロシアはトルコを最重要パートナーと見なしている」

(スプートニク 2017年03月11日 15:25)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/cihpMz>

プーチン大統領はトルコのエルドアン大統領との共同記者会見で、ロシアがトルコをもっとも重要なパートナーとして見ており、最高レベルでの政治的対話を発展させる意向だと発表した。

プーチン大統領は、「我々がトルコをもっとも重要なパートナーとして見ていることを強調する。最高レベルの集中的な政治的対話を支持する意向だ」と述べた。

プーチン大統領はまた、ロシアとトルコの関係の、多面的協力パートナー関係の道への復帰を指摘した。

先の報道では、トルコのエルドアン大統領はロシアのプーチン大統領との会談で、ロシアとトルコの協力について、その主な要素は軍産複合体とエネルギーだと述べた。

<http://sptnkne.ws/dKKV>

ニューヨーク検視官、露チュルキン国連大使の死因を公開せず

(スプートニク 2017年03月11日 15:51)

© Sputnik/ Eduard Pesov <https://goo.gl/gBPy3d>

米ニューヨークの検視局は、ロシアのヴィターリー・チュルキン国連大使の死因を公表しないと発表した。発表には、「国際法とニューヨーク法務局のプロトコル遵守の一環で主任検視官のオフィスに、ヴィターリー・チュルキン大使の死因と性質を公表しないよう指令が出された…。国務省の正式な要請に示されているように、チュルキン大使の外交特権はその死後においても継続している」とある。ニューヨークでロシアの国連大使を務めていたヴィターリー・チュルキン氏（64）が明日の65歳の誕生日を待たずして急死した。

<http://sptnkne.ws/dKMw>

国連、1945年以来最大の人道危機を発表

(スプートニク 2017年03月11日 16:26)

© AFP 2017/ Robert Atanasovski <https://goo.gl/ZKXgmG>

世界は1945年以来最も深刻な人道的危機を経験している。4カ国で2,000万人以上が飢えて苦し

んでいる。AP通信が、スティーブン・オブライエン国連人道問題担当事務次長の発言を報じた。

オブライエン氏は、国際機関からの「世界的な協調した取り組み」抜きではこれらの人々は単に死んでいくと説明。氏によると、その惨事防止には、イエメン、南スーダン、ソマリア、ナイジェリアにできるだけ早く財政援助を行い、7月までに少なくとも44億ドル(約5,050億円)集める必要がある。

オブライエン氏は、「この資金なしには、子どもたちが成長と発展を止め、学校に通うことができなくなり、彼らの将来が失われるかもしれない」と説明する。

先の報道では、2日間でソマリア南部の110人以上が、干ばつによって引き起こされた飢えによって亡くなった。

<http://sptnkne.ws/dKMV>

壁の政策、橋の政策

(スプートニク 2017年03月11日 19:37 リュドミラ・サーキャン)

◦ 写真: Pixabay <https://goo.gl/EXwtSb>

米国ホワイトハウスが、メキシコ国境の壁建設について、工事請負業者の申込受付を開始すると発表した。申込書には、壁のデザイン設計だけでなく、建設費の見積を含めた計画を記載しなければならない。3月20日までに最良の計画が選定される。

テキサス州とメキシコの国境で壁の建設が始まったのは、2006年に「安全フェンス法(The Secure Fence Act)」という名の大統領令第6061号に署名したブッシュ大統領の時代のことである。ドナルド・トランプ氏が大統領に選出されるより前に、国境線の3分の1にあたる約1,000キロメートルに高さ4~5メートルの鉄製の壁が建設された。当時の目的は今と同じで、不法移民と麻薬取引から米国を守ることであった。米国の移民政策研究所のデータによると、米国への移民の中で最も多いのが、まさにメキシコからの移民である。統計によると、2015年だけでもメキシコから米国に渡った人の数は1,100万人を超える。

冷戦後、1989年11月にベルリンの壁が崩壊し、1993年に欧州28カ国を統合する欧州連合が設立されると、隣国同士を隔てる壁は過去の遺物になるかと思われた。しかし、1998年から2012年の間に、世界ではさらに27の壁が新たに誕生した。これは調査論文『国境の壁：米国、インド、イスラエルの安全保障とテロリスト戦争(Border Walls: Security and the War on Terror in the United States, India, and Israel Paperback)』の著者リース・ジョーンズ(Reece Jones)氏が数えたものである。この3カ国だけで合計5,700キロメートルの「安全保障の壁」が建設された。

ヨーロッパを襲った移民危機により、各国政府は中東・北アフリカからの移民ルート上に障壁を

建設しなければならなくなった。「安全保障のフェンス」建設を決めたのがハンガリーである：セルビアとクロアチアとの国境に高さ4メートルの壁を175キロメートルにわたって建設しようとしている。近隣国も同様の政策でお互いを隔て合おうとしている：ギリシャがトルコと、オーストリアがスロベニアと、マケドニアがギリシャとの間に隔たりを作っている。壁があったからこそ、多くの難民は海路で欧州を目指したのである。また、ロシアとの国境に壁を建設する計画をエストニアとノルウェーが発表している。

1960年代から70年代に韓国と北朝鮮の間に誕生した壁は、かつてのひとつの国を敵対するふたつに隔て、南北対立の象徴となった。この壁は当時、北よりも生活水準の低かった南から北への大量移民を防ぐためのものであった。半世紀が経ち、状況は反転した。国境区域は非武装地帯と名付けられてはいるものの、両国は今でも、壁を挟んでお互いに武器で脅し合うことが少なくない。

つまるところ、どんなにグローバリゼーションが叫ばれていても、国境のない世界は依然として叶わぬ夢のままなのだという印象をうける。ところで、「壁の政策」と同時に、もうひとつのトレンドも加速している。国と国民をつなぐ橋の建設だ。それも、政治が邪魔し得ないことで知られる文化の架け橋だけではない。2016年12月、20年(!)の交渉を経て、アムール川に国境を越える橋の建設が始まった。この橋がロシアと中国をつなぐ。双方はこのプロジェクトの実現により、二国間の鉄道輸送と自動車輸送の急激な増加を期待する。

日本とロシア大陸部をサハリン経由でつなぐ橋のアイデア、つまり鉄道もしくは自動車道路でつなぐというアイデアは、すでに数十年前から存在している。高額にはなるものの、技術的には十分実現可能である。しかし、こうした連絡路は双方に少なからぬ利益を約束するにも関わらず、具体的な交渉は今のところ行われていない。当然、大型国際プロジェクトというものは、まず最初に地政学的問題であり、経済はその次になるのが常だ。その代わりに、双方はサハリンと日本を結ぶエネルギーブリッジ・プロジェクトに大きな関心を示している。海底に海峡を越えて敷設されたケーブルはもちろん本物の橋ではないが、このプロジェクトがロシアと日本を結ぶ橋の第一歩となるかもしれない。日本のNECはすでに、2007年に2本の光通信ケーブルを海底に敷設することで、日本とロシアをつなぐ一種の「技術の橋」を建設している。1本は北海道とサハリンを、もう1本はナホトカと直江津を結んでいる。3月18日に予定されている、南クリル諸島での共同経済問題に関する両国外務次官の会談が、お互いをつなぐさらなる一歩となるかもしれない。

「壁の政策」に話を戻すと、隣国と自国を隔てる壁として最も有名なものは、遊牧民から王朝を守るために何世紀にもわたって建設が続けられた万里の長城である。建設工事には200万人以上が動員された。これはプロジェクトの規模が大きかったからだけではなく、労働者の死亡率が恐ろしいほどに高かったからでもある。それが原因となって反乱が起これ、それが最終的には秦朝を崩壊へと追いやった。17世紀に中国の歴史家で詩人の万斯同は書いている。「長い壁が上へ上へと伸びる中、王朝は下へ下へと転げ落ちていった。人々は今でもこれを笑う…」

<http://sptnkne.ws/dKNC>

中国、自国への EU 商工会議所の報告書を批判

(スプートニク 2017 年 03 月 11 日 18:49)

◎ 写真: WhisperToMe <https://goo.gl/0vL6sU>

中国は、自国の製造振興策「中国製造 2025 (メイド・イン・チャイナ 2025)」に関する EU 商工会議所の報告書を批判した。

先に中国にある EU 商工会議所は、中国製造 2025 のために EU が最大 1,700 億ユーロ (約 20 兆 8,000 億円) を失うかもしれないとした報告書を公開した。報告書作成者によると、中国の振興策の実現は EU のビジネスチャンスを害する可能性がある。

苗圩工業・情報化相は 11 日の記者会見で、「報告書には、われわれの戦略の内容を誤って解釈しているいくつかの視点や主張がある」とした上で、「EU 商工会議所が適切に戦略を理解し、この問題を検討し、我々の視点を明らかにした上で、内容の誤解をやめることを私は期待する」と付け加えた。

先の報道では、中国の 2017 年度の GDP の伸び率は、6.5% 程度となりそうだ。この予想は、2017 年度の中国の社会経済発展プランの中に含まれている。

<http://sptnkne.ws/dKQY>

トランプ大統領の元顧問、ハッカー-Guccifer2.0 とのやり取りを告白

(スプートニク 2017 年 03 月 11 日 19:22)

◎ Fotolia/ Feng Yu <https://goo.gl/2c9jTt>

トランプ大統領の選挙対策顧問を務めていたロジャー・ストーン氏が、米民酒党全国委員会をハッキングした可能性のあるハッカーの「Guccifer 2.0」と交流していたことを認めた。米紙ワシントン・ポストが報じた。ストーン氏は、「対話は一瞬で短く、ありふれたものだったため、忘れていた」と述べた。ストーン氏はツイッターを通じてメッセージを交換していたということだ。ストーン氏は 8 月、サイト「ブライトバード」に、当時の大統領候補ヒラリー・クリントン氏に呼びかけ、民酒党全国委員会のハッキングはロシアのハッカーではなく、Guccifer 2.0 によるものだと強調する記事を公開していた。

先の報道では、「インターネットのバットマン」としても知られる米ハッカー「ジェスター (道化師)」がロシア外務省のサイトをハッキングした。テレビ局 CNN で報じられた。

<http://sptnkne.ws/dKRu>

フリン氏、米大統領選中、トルコ系企業から6千万円を 米メディア

(スプートニク 2017年03月12日 02:40)

© AP Photo/ Carolyn Kaster <https://goo.gl/vqrCnf>

AP通信やニューヨーク・タイムズなどの米メディアによれば、米国の前大統領補佐官のフリン氏が、昨年の大統領選の期間中にトルコ政府と関係が近い企業からロビー活動の報酬として、53万ドル（約6,100万円）を受け取っていた。

トランプ政権と外国政府の不透明な関係がさらに問題視される懸念がある。ロビー活動は昨年8～11月に行われた。企業はトルコのエルドアン大統領とつながりがあるトルコ系のビジネスマンが所有している。米メディアが報じた。

米国の法律上で、政治家は外国の機関があれば、司法省に活動内容を登録する必要がある。フリン氏の弁護士は当初届け出していなかったが、最近になり「潜在的な疑いを排除するため」として登録したという。ホワイトハウスは、フリン氏の活動について、トランプ大統領は知らなかったと説明した。

<http://sptnkne.ws/dMfc>

北朝鮮とマレーシア協議へ 正男氏殺害、事態打開図る

(スプートニク 2017年03月12日 03:17)

© REUTERS/ Lim Se-young/News1 <https://goo.gl/Rf04ug>

マレーシアのアニファ外相は11日、金正男氏殺害事件を巡り対立する北朝鮮と、事態打開に向け数日中に協議を開始する意向を示した。出国禁止措置の解除やマレーシアが保管する正男氏の遺体の取り扱いについて協議するとしている。記者会見で明らかにした。共同通信が報じた。

両国は事件への対応を巡り互いに批判を繰り返し、双方が自国にいる相手国国民の出国を禁止するまでに至った。協議の具体的な日程や場所は未定としている。アニファ氏は正男氏の遺体について「必要以上に長く保管するつもりはない。（遺体は）われわれのものではない」と述べ、最終的に北朝鮮か正男氏の親族のいずれかに引き渡す意向を示した。

マレーシア警察のカリド長官は10日、記者会見で、2月にクアラルンプールの空港で殺害された男性が北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男氏であると確認したことについての声明を発表した。

<http://sptnkne.ws/dMfC>

ロシア、北朝鮮への制裁実行状況を国連安保理に報告

(スプートニク 2017年03月12日 05:19)

© Sputnik/ Alexei Panov <https://goo.gl/OYHFrl>

ロシアは国連の安全保障理事会に、北朝鮮に対する制裁を完全に実行している旨の報告を行った。書簡はロシアの国連大使によって国連安保理の委員会代表に送られた。書簡には、「ロシアは国連安保理の北朝鮮に対する制裁体制の、国連決議 2321 によって課せられた義務も含めた事項を完全に実行している」とある。また書簡には、これに関連して外務大臣が、同決議実行に関するロシア大統領令のプロジェクトを準備したことが示されている。

先の報道では、日本の稲田防衛相は北朝鮮のミサイル発射への対策として、敵基地攻撃能力保有を検討する可能性を排除しなかった。9日の衆院安全保障委員会における民進党の後藤祐一氏への答弁。

<http://sptnkne.ws/dmFD>

露米、シリアに関する特別チャンネル設立を予定

(スプートニク 2017年03月12日 07:50)

© Fotolia/ viperagp <https://goo.gl/EMxeTp>

ロシアと米国は将軍レベルでのシリアに関する特別な通信チャンネルを設立する予定。米軍統合参謀本部のグレゴリー・ヒックス報道官が発表した。ヒックス報道官は、特別な通信チャンネルによって、シリアとその空域における対立リスクを低減できると指摘した。先にヒックス報道官は、将来的にロシアと米国の軍は現在より「高いレベルで」シリアに関する対話を行うと強調した。しかし、ロシアは米国とともに中東における安全保障問題解決プロセスにおける諸国の主導的役割を強化することを望んでいた。ミハイル・ボグダノフ外務次官がそう述べた。先の報道では、ロシアとの友好関係樹立によって、トランプ大統領は多くの失敗を許されるかもしれない。

<http://sptnkne.ws/dMfG>

バルチック艦隊が海上で大砲発射訓練を実施【動画】

(スプートニク 2017年03月12日 09:29)

© Sputnik/ Andrei Babushkin <https://goo.gl/K35BoE>

ロシア国防省の報道担当は、バルチック艦隊の戦闘訓練の計画に則り、艦隊は首尾よく海上、空中の目標に対する大砲発射を実行したと発表した。海上訓練場には小型ミサイル艦やミサイル艇、

小型対潜水艦船、基地掃海艇、泊地掃海艇など、10以上の軍艦が展開されていた。まもなくバルチック艦隊の軍艦、船艇、補助艦が課された任務遂行を終えて、カリーニングラード州の諸基地に帰還する。

動画 <https://youtu.be/8c9LZqokhCU>

先の報道では、ロシア連邦国防省は、自走榴弾砲「ムスタS」が高度な機動性を持った標的を砲撃する様子をおさめた映像をインターネット上にアップした。国防省情報マスコミ・コミュニケーション局が伝えるところでは、砲撃は、レニングラード州南西部ルーガに配備されている西部軍管区砲兵団の演習の枠内で行われた。

<http://sptnkne.ws/dMfH>

アサド大統領ーロシアはダーイシュと戦っている唯一の真剣な軍

(スプートニク 2017年03月12日 11:35)

○ Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/Y4cidC>

シリアのアサド大統領は香港の『フェニックス』テレビのインタビューを受けて、ロシアがシリア領内でダーイシュ（イスラム国、IS）と効果的に戦っている唯一の真剣な軍だと述べた。

アサド大統領は、「局地的にテロと戦うことはできない。それは、部分的でも一時的でもなく、総合的な闘いであるべきだ。それは空から行うことができず、地上軍と協力する必要がある。そのため、シリア軍を支援していたロシアは成功した」と述べた。この分野における新たな米政権との協力の展望に関しては、シリアと米国の間には正式な繋がりが無いため、アサド大統領は一切の機会を今のところ見ていない。

先の報道では、シリア軍はロシア航空宇宙軍の支援を得て、パルミラ奪還作戦を完了した。作戦の完了はショイグ国防相からプーチン大統領に報告された。ロシア大統領府のペスコフ公式報道官が明らかにした。

<http://sptnkne.ws/dMfK>

WSJ：CIAが情報漏えい問題でプログラマーを取り調べ

(スプートニク 2017年03月12日 16:56)

○ Flickr/ Erik bij de Vaate <https://goo.gl/kZC1MS>

米国の調査関係者らは、米中央情報局（CIA）の情報漏えい問題で、同局のために仕事をして

いたプログラマーを疑っている。ウォールストリートジャーナルが報じた。

消息筋によると、3月9日に複数の職員が取り調べを受けたが、今のところいかなる訴えも起こされていない。ウォールストリートジャーナルは、情報漏えいの原因について、CIAがプログラマーたちに新たな依頼をしなかったことへの不満だと指摘している。

先に、ペンス米副大統領は、内部告発サイトウィキリークスがCIAの仕事に関する文書を公開したことについて、米国はその情報を漏らした者たちに責任を取らせるため、あらゆる措置を講じる用意があると発表した。

<http://sptnkne.ws/dM4G>

サウジアラビア、住民の 20 パーセント追放へ

(スプートニク 2017年03月12日 18:18)

○ 写真: B.alotaby <https://goo.gl/lGf3jz>

サウジアラビアは、住民の約20%（不法移民約500万人）を国外に追放するプログラムを作成している。

アル・ハヤット紙によると、サウジアラビア当局は、移民から彼らにサウジアラビア国籍を与えて「帰化する」ことを要求されるのを危惧しているという。

なお、同国で不法移民国外追放キャンペーンが行われるのは今回が初めてではない。2012年から2015年にかけて、サウジアラビアから24万3,000人のパキスタン人が国外追放された。複数の人物は、イスラム過激派によるテロの容疑で追放された。

イスラム教の聖地サウジアラビアへの大量移住は、1970年代の石油ブームを背景に始まった。移住者を必要としたのは、成長する経済のニーズだけでなかった。問題は、サウジアラビアの法律の特質にあった

サウジアラビアでは女性が自動車を運転することが法律で禁止されている。そのため移住者らは自動車の運転手になったり、荷役労働者やベビーシッター、補助労働者などのより技能の低い仕事に就いた。

結果、サウジアラビアでは移住者が膨大な数に上った。移民街が形成され、2010年の調査によると、出稼ぎ労働者の数は人口の30%にまで達した。

<http://sptnkne.ws/dMmK>

オークションで売られた奴隷を描いた絵が、米国の学校でスキャンダルとなる

(スポーツニク 2017年03月12日 18:46)

◎ 写真: Pixabay <https://goo.gl/R2eZmV>

米ニュージャージー州の学校で生徒たちが課題として奴隷を描いたポスターを描き、スキャンダルとなった。10歳から11歳の生徒たちに、奴隷が売られたオークションの絵を描くという課題が与えられた。

生徒たちはポスターに「手頃な奴隷」、「質の良い家政婦」などの言葉を書いた。ポスターは学校に貼られ、それを見た生徒の親たちが学校に苦情を言い、校長が謝罪した。

twitter.com/ <https://goo.gl/luqxlp>

不満を抱いた親たちは、どうやったらこのような課題で子供たちに歴史を教えることができるのか理解できなかったという。

なお学校職員のアンドレア・エスピノーザ氏は「これは米国史の一部です。生徒たちがこの事を知るの正しいことだと思います」と語った。

先の報道ではオーストラリアの私立学校でヒトラーに変装した生徒が最高の衣装として賞を受賞した。

<http://sptnkne.ws/dM4z>

英閣僚の出国を禁止

(スポーツニク 2017年03月12日 19:41)

◎ REUTERS/ Toby Melville <https://goo.gl/cXrRyd>

英保守党は、英国のEU離脱(Brexit)手続きの開始に関連し、閣僚らの出国を禁止した。デイリー・テレグラフ紙が報じた。

デイリー・テレグラフによると、すでに閣僚2人が外国訪問の中止を余儀なくされたという。なおこの2人の閣僚の名前は明らかにされていない。

デイリー・テレグラフの情報によると、出国制限は保守党が英国議会でわずかな優位性しか有していないことに関連している。

与党・保守党は、Brexitを開始する法案の採決を前に閣僚が外国へ行くと勢力バランスが乱れ、

複数の保守派がEU支持派のキャンプに加わり、上院が提案した文書への不要な修正を支持するのを危惧しているという。

<http://sptnkne.ws/dMpj>

グリーンピース・ロシア 福島第一原発事故被災者の権利尊重を訴える書簡を日本政府に送る

(スプートニク 2017年03月12日 20:31 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Ilia Pitalev <https://goo.gl/2IvTnY>

福島第一原発事故から6年が経ち、発電所付近の放射線量は、本質的に下がった。原発に比較的近い場所に、人が3時間滞在した場合でも、受ける放射線量は0.03ミリシーベルト以下である。この量は、胸部をレントゲン撮影する際の数値に等しい。放射線と戦う事ができるレベルだ。チェルノブイリ原発事故からこれまで、人類は、土壌の表面を除去したり、汚染された土壌を埋めてしまうよりほかに、良い方法を思いつけないでいる。日本でも、汚染された表土は除去されたが、埋められることはなく、特別の袋に詰められて集められた。福島では、放射能に汚染された土の入ったそうした袋が、すでに野原一杯になっている。

今、福島第一原発においてまず始めにすべき課題は、解体と原子炉から溶けた核燃料を取り出すことである。今年の夏には、核燃料取り出しの手順が決められ、来年2018年には決定が下され、2021年には作業に着手されるものと予想されていた。しかし、東京電力とIRID（国際廃炉研究開発機構）、そして東芝が行った調査によれば、原子炉真下の放射能レベルが20シーベルトであるなら、原子炉を支えるコンクリートの基底部脇のレベルは、何と500シーベルトになることが分かった。恐らく、プラン見直しの必要が生じると思われる。

先に日本政府は、2017年には避難ゾーンのいくつかへの帰還が始まるだろうと説明していた。とはいえ例えば、福島第一原発近くの森の放射線レベルは、除染後でさえチェルノブイリ原発周辺30キロの避難ゾーンのそれに匹敵する。チェルノブイリの場合、事故後30年が経っても、避難ゾーンへは公式的には、入ることができない。そんな中、2017年3月31日、福島第一原発から30キロに位置する飯舘村の大半の地域では避難指示が解除される。

そしてさらに1年後には、これらの地区の旧住民に対する補償金支払いが停止となる。その際日本政府は、飯舘村に帰還した場合、旧住民が受けることになるだろう放射線がどのくらいかについて、評価がなされなかったことを認めている。グリーンピース・ジャパンの米田祐子事務局長は、次のように述べた—

「原子力産業維持を目指しながら、安倍政権は、偽りの地図を描こうと試み、破滅的結果であるにもかかわらず、福島的生活は正常になるかのように主張している。」

一方先日、グリーンピース・ロシアは、日本政府に対し、被災者の人権を尊重し、部分的に汚染が

残る場所へ彼らを無理に帰還させないよう求める書簡を送った。これについて、グリーンピース・ロシア反核プログラムの責任者、ラシド・アリモフ氏は、スプートニク日本のリュドミラ・サーキャン記者のインタビューに、次のように答えた―

「福島第一原発事故からの6年間は、チェルノブイリ原発事故後の30年と同様、放射性物質に汚染された土地の完全な除染はできないことを示している。しかし日本では、事実上、汚染地区への経済的強制移住が進められている。我々は、人々には選択肢があるべきであり、政府は、彼らのもとに安全に関する偽りの理解を創り出してはならないと考えている。まさにそうした理由から、グリーンピース・ロシアは、日本大使館に書簡を渡した。もちろん、放射線のレベルは低くなったが、そうした場所に常時住むことは、除染がなされたとしても、線量計が何を示したとしても、やはり危険である。問題は、放射性元素が、水や食品、あるいは呼吸することを通して体内に入り込んで起こる内部被曝である。例えばロシアでは、チェルノブイリ原発事故後30年が過ぎても、14の地域に汚染が残っている。グリーンピースが日本やロシアそしてウクライナで行った調査によれば、汚染は均一的ではなく極めてバラバラで、人間の健康にとってネガティブなものや深刻な汚染が今も残る場所がある。こうした事から特に悪影響を受けるのが、子供達だ。チェルノブイリと福島の間には大きな違いがあるが、一方でたくさんの共通点もある。例えば、どの国の専門家らも、時に自分達の健康を危険にもさらしながら、事故の悪影響をなくそうと懸命に取り組んでいるが、原子力産業側は、事故に対する自分達の責任を軽くすることを目指し、政府は政府で財政負担を軽減したいと欲している。」

福島県の富岡町や双葉町などから避難した人々は皆が、あたかも6年前に離れた町への帰還を心待ちにしているように見られている。町には人々が生活していた証は残ってはいるものの、まるでゴーストタウンのようだ。しかしこれこそが、人間の活動がどんな結末をもたらすのかを我々に思い出させてくれる厳しい現実なのだ。

<http://sptnkne.ws/dMqG>

ファシズムの残滓？ オランダ・トルコ関係悪化へ

(スプートニク 2017年03月12日 20:57 短)

◎ AFP 2017/ Adem Altan <https://goo.gl/nwZyJU>

深刻な外交的スキャンダルが、トルコとオランダの2国間関係に生じ、双方は、とげのある威嚇的発言を相手に対し繰り返している。この出来事を、スプートニク記者は、以下のように簡潔にまとめた。

トルコのチャブシオール外相は、今月11日、オランダ・ロッテルダムでの在住トルコ人集会に出席し、トルコ憲法変更への支持をトルコとの二重国籍を持つオランダ人に訴える計画だった。トルコの統治形態を議会制から大統領制に変更する憲法修正に関する国民投票は、4月16日に行われる。

一方オランダ当局は、トルコの公人が、自国内で公然と政治的アジテーション行為をすることを認めておらず、チャプシオール外相の乗った飛行機の着陸を拒否した。

これに反発したトルコ当局は、今度はファトマ・ベテュル・サヤン・カヤ家族・社会政策相を集会に参加させ、在住トルコ人達と話し合うため陸路派遣した。しかしオランダ当局は、同大臣を「望ましくない外国人」として、すぐにトルコに送り返してしまった。

これに対しトルコのエルドアン大統領は「オランダ政府はファシストである」と発言し、重大な対抗措置を講ずると警告した。

大統領は、土曜日イスタンブールで演説し「彼らは、政治も国際的な外交も何も知らない。これはナチズムの残滓であり、彼らはファシストである」と非難している。

<http://sptnkne.ws/dM5f>

ペスコフ報道官、プーチン大統領とトランプ大統領の電話会談について語る

(スプートニク 2017年03月12日 21:20)

◎ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/oQKRyU>

ロシアのペスコフ大統領報道官は、CNNのインタビューで、2017年1月28日に行われたプーチン大統領とトランプ大統領の電話会談の詳細について少し語った。

ペスコフ報道官は、CNNのジャーナリストから露米首脳の話電話会談について質問され、「実際のところ、会話は十分に期待を抱かせるものであり、非常にプラグマチックだった。私が言おうとしているのは、トランプ大統領のことだ。同氏は多くの件でロシアと同意見ではないという事実を隠してはいないが、同氏は、我々是对話を行う必要がある、我々は共通点を見つけるために我々の立場を比較する必要があると述べるためには十分にプラグマチックだ」と語った。またペスコフ氏は、トランプ大統領の発言によると我々が決して合意することのできない一連の問題があるものの、トランプ大統領と一緒に集まって対話をする必要があることを認めていると指摘した。

<http://sptnkne.ws/dM5k>

英外相「サイバー攻撃にロシアが関与しているとの証拠を持っていない」

(スプートニク 2017年03月13日 03:35)

◎ AP Photo/ Alastair Grant <https://goo.gl/ztAypP>

英国は、西側諸国に対するハッカー攻撃にロシアが関与しているとの証拠を持ってはいない。日

曜日、テレビ I T V に出演した中で、英国のジョンソン外相が述べた。外相は「ロシアが我々の民主的プロセスを台無しにしようと企んでいるとの証拠を、現時点で我々は持っていない。実際のところ、我々にはそうした証拠はない」と述べた。

その一方でジョンソン外相は、ロシアにはサイバー攻撃を行う力があるとの考え方を示し「我々には、ロシアにそうした能力があることを十分に確認できるものがある」と付け加えた。またロシアと英国の二国間関係について、外相は「以前あった友情を続けられないこと」を残念だとし「個人的感情では、それは非常に深い悲しみである」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/dM5q>

英国、Brexit の正確な時期を発表

(スプートニク 2017 年 03 月 13 日 04:50)

© Flickr/ Tomek Nacho <https://goo.gl/WUIGSq>

英国は 2019 年 3 月に E U から離脱する。英国のデービス E U 離脱担当相が B B C のインタビューで述べた。デービス氏は、英国の E U 離脱の時期について質問を受け、「それは 2019 年 3 月になる」と述べた。

英国の議員が英国の E U 離脱に関する政府の法案を支持した場合、英国のメイ首相は E U 離脱に関するリスボン条約第 50 条を 3 月 14 日にも発動する可能性がある。

先の報道では、英保守党は、英国の E U 離脱手続きの開始に関連し、閣僚らの出国を禁止した。

<http://sptnkne.ws/dM5r>

トルコがオランダに報復の決意を表明

(スプートニク 2017 年 03 月 13 日 05:29)

© AP Photo/ Andrew Harnik <https://goo.gl/2evjfN>

12 日、トルコのエルドアン大統領はイスタンブールで演説し、チャブシオール外相がオランダ政府に入国を拒否された問題で、「このつけを必ず支払わせる」と述べ、オランダに報復する決意を表明した。ユルドゥルム首相も「最も手荒い方法で報復する」との声明を表した。共同通信が報じた。

入国を拒否されたチャブシオール外相は、政治、経済分野での制裁を示唆し、訪問先のフランスで、欧州諸国がオランダ政府を批判するかどうか見届けると語った。また 12 日、首都アンカラのオ

ランダ大使館周辺や、イスタンブールのオランダ総領事館周辺では、トルコ市民による抗議集会が開かれ、卵や石が建物に投げつけられたほか、男が総領事館の建物の屋上に上り、オランダ国旗を引き下ろし、代わりにトルコ国旗を掲揚する事件も発生した。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dM2Q>

サウジ国王、日本に到着 高級ホテルで千室以上を予約【写真】

(スポーツニク 2017年03月13日 07:30)

© AFP 2017/ HO/SPA <https://goo.gl/ljKzGj>

サウジアラビアのサルマン国王が12日、アジア歴訪の枠内で46年ぶりに公式訪問のため羽田空港に到着した。世界最大級の産出量を誇る石油への依存からの脱却に向け、日本からの投資拡大など協力を呼び掛けるのが狙い。皇太子さまが羽田空港で出迎えられた。共同通信が報じた。サルマン国王は日本で15日まで滞在する。

日本政府関係者によると、サウジ側は王族や関係閣僚、国王の使用人など計千人を超す大規模な訪問団。12日までに約10機の飛行機に分乗して相次いで日本に到着した。サウジ政府筋によると、都内の高級ホテルなど千室以上を予約、移動用のハイヤー約500台を準備したという。羽田空港に着いた国王は、サウジから事前に持ち込んだ専用のエスカレーター式のタラップを使って降り立った。駐日サウジ大使らに出迎えられ、皇太子さまと笑顔で言葉を交わした。

www.instagram.com/ <https://goo.gl/jnXuNs>

その後、空港内の貴賓室で、カタールなどサウジ近隣国の駐日大使らも交え歓迎式を開催。VIP専用の駐機場近くには、大使館専用車や高級ハイヤーなど50台以上の車が待機していた。国王は13日に安倍晋三首相と会談、両者はエネルギーやインフラ、中小企業育成、交流促進など多方面にわたる協力事業を盛り込んだ「日・サウジ・ビジョン2030」を公表する見通しだ。天皇陛下とも昼食を共にする機会がある。

<http://sptnkne.ws/dM5y>

イラン、国産戦車を披露し、量産開始

(スポーツニク 2017年03月13日 08:00)

© AP Photo/ Iranian Defense Ministry <https://goo.gl/xFZp89>

イラン軍は11日、最新の国産戦車「カラール」を披露し、量産を開始した。イランの通信社Farsが報じた。イラン軍は先に開発中の戦車について、その能力は少なくともロシアのT-90戦車と似た

ようなものになると述べていた。

イランのデフガン国防軍需相はプレゼンテーションで「戦車はパワー、精度、機動性の3つの主要分野の他、メンテナンスと戦場での信頼性の分野で世界の最先端の戦車に対抗できる」と述べた。

テフガン氏は、戦車は発射されたミサイルをターゲットに正確に向かわせることができる他、窪地や川を走破したり、さらには水中を移動することもできると指摘した。

twitter.com/ <https://goo.gl/vv9GQZ>

<http://sptnkne.ws/dM52>

日本、マレーシアに協力 金正男氏の指紋を提供

(スプートニク 2017年03月13日 08:30)

◎ AFP 2017/ JUNG Yeon-Je <https://goo.gl/p7GAzv>

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男氏殺害事件で、日本政府が、2001年に正男氏を成田空港で拘束した際に採取した指紋などをマレーシア側に提供していたことが12日、分かった。複数の関係者が明らかにした。捜査や息子ハンソル氏保護のため米国など複数国が動いたとみられているが、日本の具体的な協力が明らかになったのは初めて。事件は13日で発生から1ヵ月。北朝鮮による国家ぐるみの犯行とみられている事件を巡り、各国が水面下、国際的に連携して対処したことが徐々に明らかになってきた。共同通信が報じた。

先に伝えられたところによると、マレーシア警察は10日、男性が正男氏だったと最終確認したと発表した。関係者は家族のDNAを「特別な方法」で入手したとし、これが決め手になったもようだが、確認作業には日本の情報も活用されたとみられる。

<http://sptnkne.ws/dM55>

クレムリン：ロシアが制裁緩和を頼むことはない

(スプートニク 2017年03月13日 09:05)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/TyNpSE>

ロシアのドミトリー・ペスコフ大統領報道官は、CNNのインタビューに応じた際「ロシア政府が、反ロシア制裁軽減問題のイニシアチヴを取るつもりはないし、そうした措置の撤廃は、米国側の特権である」と述べた。

ロシア政府は米新政権による制裁緩和を期待しているかとの質問に対し、ペスコフ報道官は「そうした事は、一度も話されなかった」と指摘した。スプートニク通信が伝えた。またペスコフ報道官は「トランプ大統領は、露米対話の必要性について言うためには、十分にプラグマチックだ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dM56>

オランダ首相、トルコは「わびるべきだ」

(スプートニク 2017年03月13日 09:30)

© AFP 2017/ Lex van Lieshout <https://goo.gl/i1UKv6>

トルコのチャブシオール外相のオランダ入国拒否などを受け両国が対立している問題で、オランダのルッテ首相は12日、自国の措置は問題なく、エルドアン大統領がオランダ側をナチスやファシスト呼ばわりしたことを「わびるべきだ」と記者団に述べた。欧州メディアが報じた。

オランダは15日に下院選があり、中道右派の与党、自由民主党（VVD）はトルコ移民らの排斥を主張する極右、自由党（PVV）と競っている。ルッテ氏は極右などからの弱腰との批判を避けるため、トルコに強い態度に出る必要があったとみられる。共同通信が報じた。

ルッテ氏は「わが国は第2次大戦でナチスに爆撃された。（エルドアン氏の）発言は全く受け入れられない」と訴え、「扇動的発言を続けるなら、われわれは次の措置を考えねばならない」とした。

外相は、11日にオランダ・ロッテルダムで計画されていたエルドアン政権支持のトルコ系住民の集会に参加する予定だった。オランダ当局は秩序維持などを理由に外相の搭乗機の着陸を認めなかった。別ルートでロッテルダムに向かったトルコのカヤ家族・社会政策相をドイツに出国させたことについても、ルッテ氏はカヤ氏の訪問が「好ましくない」ためだと述べた。

<http://sptnkne.ws/dM58>

もっと資金と情報を！ WADA改革に向けた要求リスト公開

(スプートニク 2017年03月13日 10:10)

© AFP 2017/ Marc BRAIBANT <https://goo.gl/0kg2Gq>

世界のアンチ・ドーピング機関が加盟する国際組織 iNADO は、世界の反ドーピング・システムに対する要求をまとめたリストを公表した。その中で同組織は、世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) の財政状況を改善し、スポーツ連盟からの独立を保障するべきだと提案している。また同

組織は、世界中の情報提供者への支援強化も主張している。

完全な要求リストは、Facebook 上の同組織のページにのせられている。

1. スポーツ組織がドーピング決定をコントロールしている際に生じる、利益の基本的対立を解消させる。
2. WADA をより独立し開かれた強力なものとし、その資金を増やす。
3. アンチ・ドーピング法違反に巻き込まれた、あらゆる組織あるいは国に対するコントロールや調査、これらに対する制裁言い渡しに関する効力ある透明度の高い全権をWADAに付与する。
4. なるべく早いメダルの返却を含め、禁止薬物を用いた他のスポーツ選手の不誠実な行動により痛手をこうむったスポーツ選手の権利を擁護する。
5. 全世界の情報提供者達への支援を強化する。

facebook.com/ <https://goo.gl/5WyLFO>

<http://sptnkne.ws/dM59>

韓米合同軍事演習始まる 北朝鮮を威嚇

(スポーツニク 2017年03月13日 10:40)

◎ REUTERS/ Kim Hong-Ji <https://goo.gl/HL3MZg>

韓米連合同司令部と韓国軍合同参謀本部は13日、韓米定例合同軍事演習「キー・リゾルブ」を開始したと発表した。聯合ニュースが報じた。

今回の演習は13日から24日まで。今年の演習では前回と同様、北朝鮮の核・ミサイル施設の際、基地を先制攻撃する「作戦計画5015」が適用されるもようだ。韓米両軍は今春にも在韓米軍が運用を開始する米最新鋭地上配備型迎撃システム「高高度防衛ミサイル（THAAD、サード）」と地对空誘導弾パトリオットで北朝鮮の弾道ミサイルを迎撃する防衛訓練を実施するとされる。

聯合ニュースによれば、15日には米原子力空母「カール・ビンソン」が韓国の釜山に入港する。同空母は、戦闘攻撃機F/A18や早期警戒機E2C、電子戦機EA18Gグラウラーなど、約80機の航空機を搭載しており、中小国の空軍力全体に匹敵する戦力を備えている。

<http://sptnkne.ws/dM5B>

米国の外交官らが駐米ロシア大使を擁護

(スプートニク 2017年03月13日 13:19)

© AP Photo/ Cliff Owen <https://goo.gl/zRFVES>

米国の元駐ロシア大使やその他の米国の外交関係者らが、ロシア、またキスリャク駐米ロシア大使に対して「魔女狩り」をしないよう呼びかけた。ザ・ヒル紙が報じた。

2月中旬、トランプ米大統領のフリン国家安全保障補佐官が、ペンス米副大統領にロシア大使との接触を報告しなかったとして辞任した。

その後、米国のマスコミは、キスリャク氏や、同氏と接触したというトランプ政権の代表者らの中傷する記事を報じた。

そこで米国の元駐ロシア大使のマイケル・マックフォール氏とジョン・バイエルリ氏が、キスリャク大使の擁護に立ち上がった。両氏はザ・ヒルに、キスリャク大使はただ自分の仕事をしただけであり、キスリャク氏とトランプ政権の間に「犯罪的な談合」は一切なかったと述べた。

また、ロシアで外交官として働き、キスリャク氏の数十年来の知人でもある米外交政策評議会（A F P C）の上級研究員ウェイン・メリー氏も同じような考えを表した。

<http://sptnkne.ws/dMBj>

サウジに経済特区創設合意 安倍首相とサルマン国王

(スプートニク 2017年03月13日 13:36)

© AFP 2017/ <https://goo.gl/5nz5w8>

安倍晋三首相とサウジアラビアのサルマン国王が、日本企業の進出を促す経済特区をサウジに創設する協力策で合意する方向になったことが13日分かった。共同通信が報じた。

同日夕の会談後に「日・サウジ・ビジョン2030」として打ち出す。両国は14日に投資フォーラムを開催して民間企業同士の提携も推進。トヨタ自動車がサウジに工場を新設する調査を始めることなどを含め、官民の経済協力は約30件に上る見通しだ。

原油価格の低迷で石油依存経済からの脱却を目指すサウジに協力し、産業の多角化を後押しする。日本にとって最大の原油供給国との関係を深め、企業の中東市場開拓につなげる狙いもある。今回合意する特区では日系の工場や研究開発施設を集積するため、外資系企業が進出する際の規制の緩和、関税手続きの簡略化などの投資促進策を盛り込む方針だ。

民間企業の提携では製造業の育成や医療、エネルギー分野の協力が柱になる。トヨタが工場新設のための調査を進めることで、サウジの担当官庁と覚書を交わす方向。東京電力ホールディングスはサウジ国営電力会社と研究開発分野の人材交流で合意し、覚書に署名する調整を進めている。

世界最大の石油会社、サウジ国営サウジアラムコの東京証券取引所への上場誘致に向けた協議を進めることでも首脳間で一致する見込み。

サウジ国王の訪日は1971年のファイサル国王以来、46年ぶり。サルマン国王は日本滞在後に中国に向かう予定だ。

<http://sptnkne.ws/dM6V>

大統領令 9066 号：日系人であることが悪い

(スプートニク 2017年03月13日 14:04 タチヤナ・フロニ)

◦ AP Photo/ Robert Kradin <https://goo.gl/PFo4aJ>

第二次世界大戦中に日系人の強制収容を命じた大統領令が発令されてから、2017年で75年となる。米国史上、最大の強制退去だった。

1940年代初めの真珠湾攻撃は米国政府と米国社会の心理に極めて大きな影響を及ぼし、同国のフランクリン・ルーズベルト大統領は9066号の番号を持つ、かの哀しくも有名な大統領令に署名することとなった。日本人の血をひく者は全員、たとえ16分の1でも日本人の血が流れていれば、収容所に収監すると決めた文書である。こうして、1942年、米国政府はほぼ全ての在米日系人、11万人を収容所に収監した。彼らの存在は「安全保障上、適当でない」と考えられたのである。中には、大西洋沿岸州に暮らす3万人の子どもたちも含まれていた。

これほどの過激な行為が行われた理由について、軍事史と日本の専門家、アナトリー・コシキン氏がスプートニクに詳細を語ってくれた：

「現在、文書から分かっていることは、当時、実際に多くの人がドイツや日本の諜報機関に協力していたということです。ですから、大統領令9066号は予防策と見なされていました。米国は、当時アジア系移民が数多く居住していた西海岸に日本海軍が攻撃を仕掛け、部隊が上陸してくる可能性を危惧していました。また、西海岸に居住するアジア系移民の中には、米軍艦船や潜水艦など、米軍の目標位置を無線や他の方法によって日本側に知らせることができる者がいる可能性があるとして米国は考えていました。例えば、例の真珠湾攻撃でも、ホノルルには日本領事館がありました。私は、当時そこで外交官という名目で働いていた日本人諜報員の回想録を読んだことがあります。彼らは主に海軍の所属で、真珠湾で何が起きているのかを詳細に偵察・監視していました。真珠湾攻撃が成功したのは、このおかげが大きいのです。」

しかし、だれかれ構わず連行されて、荷物も手に持てる量しか携行することを許されなかったのである。辺境の州に連れて行かれ人々は、ひどい設備のバラックに住まわされ、食事もろくに与えられなかった。

アナトリー・コシキン氏は言う：

「人権擁護団体にとってまず重要なのは、当然ながら、収容所に収監された日系人のうち、3分の2が、当時は取得が極めて困難だった米国籍を持つ人たちだったということです。つまり、すでに米国に住んで長い年月が経っている人たちだったのです。そのため、後年になって、この行為の違法性を訴えるキャンペーンが展開されました。しかし、精神的・物質的な補償を得るまでには、さらに40年の歳月を待たなければなりませんでした。1988年になってやっと、レーガン大統領が日系人強制収容を謝罪する文書に署名し、諜報活動とは関係なく強制収容され、生存できた人々に補償金が支払われました。」

収容所という劣悪な生活環境にあっても、多くの収容者は根気強く、米国政府に対する忠誠を証明しようと試みた。その結果、2年後の1944年半ばには、11万人のうち約2万人の日系人が収容所から釈放された。彼らは終戦まで米国沿岸部の都市に居住することが禁止された。収容所側は釈放者に25ドルと、事前に釈放者が自ら選択した居住地までの切符代を支給した。ルーズベルトの大統領令が廃止されたのは、1945年1月になってからのことである。

また、不幸にもヒトラーとムッソリーニと同じ民族だった人々が、ルーズベルト大統領令の対象となったことはあまり知られていない：ドイツ人1万1,000人とイタリア人5,000人が強制収容所に収監されたのである。さらに15万人が「要注意人物」に指定され、戦時中を通して諜報機関の監視下に置かれ、米国内の全ての移動を通知させられた。

<http://sptnkne.ws/dM7k>

中国、陸兵隊隊員を4倍に増やす計画

(スプートニク 2017年03月13日 15:17)

◎ 写真: Public domain <https://goo.gl/Ea9Udb>

中国は死活的に重要な海上交通と海外で伸びゆく利益保護のため、海軍陸兵隊の隊員数を現行の2万人から最大10万人に増やす計画だ。サウス・チャイナ・モーニング・ポストが軍関係者と専門家の情報を基に報じた。

軍の一部は「アフリカの角」地域のジブチとパキスタン南西部のグワダルにある中国港に駐留する模様。

軍関係者によると、現行軍隊の2個旅団がすでに海軍陸兵隊に移されて、隊員数は2万人とほぼ

2倍増加した。

軍関係者は、「中国海軍陸兵隊の隊員数は10万人にまで増えて、6個旅団から構成されるようになる」と述べる。また、現在23万5,000人だと見られている海軍の隊員数も15%増加する模様。

<http://sptnkne.ws/dM7Z>

メイ英首相、反転覆大臣を任命

(スプートニク 2017年03月13日 16:10)

◦ REUTERS/ Paul Hackett <https://goo.gl/95UtcY>

英国のメイ首相は、次期選挙に介入される可能性があるとの危惧から、反転覆大臣を任命した。メイ首相にとって、次回選挙の厳正さは国の安全保障の優先事項であるためだ。英紙タイムズが報じた。

同紙によると、このポストに就任するのはベン・ガンマー氏。仕事には、「英国の民主的生活の完全性の保護」が含まれている模様。

同紙はまた、「ロシアのハッカー、フェイクニュース、金銭」とやらが民主主義に否定的に影響する可能性があるとの懸念を示している。

<http://sptnkne.ws/dM97>

仏ルペン党首、仏領内でのトルコの集会に反対

(スプートニク 2017年03月13日 16:42)

◦ AFP 2017/ FRANCOIS GUILLOT <https://goo.gl/J7xFG9>

仏大統領選挙の「国民戦線」からの候補、ルペン同党党首はツイッターで、同国領内における、トルコ政府によって組織された集会に反対する旨をつぶやいた。

ルペン党首は、「なぜ我々が我々の土地で、他の民主主義者らが拒否したあの言葉に我慢しなければいけないのか？ フランスにはトルコの選挙運動はない」と書き込んだ。

12日、トルコのチャブシオール外相はフランス北東部メス市で行った演説で、オランダを「ファシズムの拠点」だと呼んだ。

オランダとトルコの衝突は、チャブシオール外相が、欧州諸国に住むトルコ市民に向けての政治

的扇動を行う目的でのオランダ・ロッテルダム入りを拒否された後に勃発した。

<http://sptnkne.ws/dM9Q>

ペスコフ報道官、露米首脳会談開催の可能性のある日付を述べる

(スポーツニク 2017年03月13日 16:59)

© REUTERS/ Stevo Vasiljevic <https://goo.gl/ah38R8>

プーチン大統領がトランプ大統領と会談を行うのはおそらく、G20サミットにおいて。ロシア大統領府のペスコフ報道官がCNNテレビのインタビューを受けて、次のように述べた。

「もし我々がより早い首脳会談で合意しなければ、会談は7月ハンブルクで開催のG20サミットで行われる可能性がある」と推定される。なぜなら、これは彼ら(プーチン大統領とトランプ大統領)がお互いに出会うかもしれない最初の場所だからだ。」

露米首脳会談から期待すべきものは何かとの質問に対しペスコフ報道官は、トランプ大統領とプーチン大統領にとってそれは何よりも、個人的に知り合う機会になるだろうと強調した。

現時点では、G20が初の露米首脳会談の場となるかどうか、両首脳がサミットまでに対話できるかどうかについての明確な了解はない。だが、ロシアのリュブコフ外務次官によると、会談に向けての実務的な準備はすでに行われている。

またロシアのペスコフ大統領報道官は、CNNのインタビューで、2017年1月28日に行われたプーチン大統領とトランプ大統領の電話会談の詳細について少し語った。

<http://sptnkne.ws/dMAg>

菅官房長官、マレーシア政府への金正男氏の指紋提供のコメント控える

(スポーツニク 2017年03月13日 17:11)

© AFP 2017/ Kazuhiro Nogi <https://goo.gl/36kXs3>

菅官房長官は、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄である、クアラルンプールで殺害された金正男氏の指紋を、日本政府は実際にマレーシア政府に提供したのかという質問に対し、コメントを控えた。

菅官房長官は東京の記者会見で、「現在、マレーシア警察により捜査が進められている。事柄の性質上、コメントは差し控えたい。政府としては、両国で緊密に連携して、情報収集、分析に努め

ているところだ」と述べた。

先に共同通信は、日本政府がマレーシア政府に金正男氏の指紋を提供したと報じた。

<http://sptnkne.ws/dMAV>

ベトナム、西沙諸島行きクルーズ停止を中国に要求

(スプートニク 2017年03月13日 19:11)

◦ Flickr/ Nicolas Lannuzel <https://goo.gl/SJJVFh>

ベトナムは中国に対し、領有権が争われている南シナ海の西沙諸島行きクルーズ派遣を停止するよう要求した。ロイターがベトナム外務省の広報担当の情報を基に報じた。

3月初め、中国のクルーズ船「チャングル・ゴンジュ」が、領有権が争われている西沙（パラセル）諸島へ向かうエコツアーリズムツアーに初めて出発した。

ベトナム外務省の広報担当は、「ベトナムはこれに強く反対し、中国にパラセル諸島に対するベトナムの主権を尊重し、国際法を遵守してこれらの行為を停止するよう要求する」と発表した。

中国は、他国も領有権を主張している西沙諸島と南沙諸島を自国の領土だと述べている。

<http://sptnkne.ws/dMEP>

トランプ大統領、4月にフロリダのリゾートで習国家主席と会談の意向

(スプートニク 2017年03月14日 02:10)

◦ AP Photo/ Manuel Balce Ceneta <https://goo.gl/kMuQoS>

トランプ大統領は4月、中国の習近平国家主席を米フロリダにある自身の別荘「マー・ア・ラゴ」に招待する意向だ。新興メディアサイト「アクシオス（AXIOS）」がトランプ大統領の計画に詳しい関係筋の情報を基にして伝えた。

これまでの情報によると、米中首脳会談は4月6日か7日に行われる。関係筋は、会談は主に作業的な性格を帯びると述べた。木曜日、ホワイトハウスはトランプ大統領と習国家主席が4月に会談を行う可能性があるとの報道へのコメントを控えた。

<http://sptnkne.ws/dMGV>

海自最大の護衛艦「いずも」を南シナ海に派遣へ

(スプートニク 2017年03月14日 02:10)

◎ 写真: Dragoner JP <https://goo.gl/ViJHJg>

海上自衛隊は今年5月、日本最大の最新鋭ヘリコプター搭載護衛艦「いずも」を南シナ海に派遣する。日米印の共同訓練「マラバール」参加などが目的。ロイターが自衛隊の複数の関係者の情報を基に報じた。

ロイターは関係者の次の発言を引用した。

「我々の目的は、長期任務に送ることで『いずも』の能力をテストすることだ。南シナ海で米海軍と訓練を行う。」

また、いずもは航海中、インドネシア、シンガポール、フィリピンの港に数回寄港する予定だという。日本への帰港は8月となる。基準排水量約1万9,500トンである、海自最大の護衛艦「いずも」が就役したのは2015年。

これより前に伝えられたところでは、日本は敵基地攻撃能力保有を検討する可能性を排除しなかった。

<http://sptnkne.ws/dMHY>

中央アジアは相変わらずロシア志向

(スプートニク 2017年03月14日 02:10 アンドレイ・イルヤシェンコ)

◎ Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/Ib6aYT>

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領の、旧ソ連邦構成共和国で、現在は集団安全保障条約(CSTO)に加盟しロシアの軍事的政治的同盟国であるカザフスタン、キルギスタンそしてタジキスタンの中央アジア3国電撃訪問は、一連の疑問を呼び起こした。歴訪は、明らかにあらかじめ準備されてきたものではなく、訪問中、いかなる本質的な文書も調印されなかった。プーチン大統領の、これら3カ国への個人的訪問は一体何のためのものだったのだろうか？

第一に、原油価格の下落とそれに関連したロシアの経済発展テンポの鈍化が、ロシアとこれら3国との間の貿易取引高の縮小、一連の経済協力プロジェクトの凍結、これらの地域へのロシアの投資の落ち込みにつながったことが、その理由として挙げられる。こうしたすべてのことは、イスラム系のもも含めた在野勢力に、その統合の牽引車たるロシアとの関係を筆頭に、ユーラシア経済同盟に対する批判の口実を与えてしまった。

ナザルバエフ氏の終身大統領制から議会制の国への移行を規定する憲法改革を目前に控えているカザフスタンにとって、この時期に国内政治状況が悪化する事は、到底受け入れられない。今年末に新たな大統領選挙を控えたキルギスも同じだ。一方タジクのラフモン大統領は、今のところ、ユーラシア統合への「賛成」と「反対」の長所をはかりにかけている。しかしロシア国内には、絶えず約百万ものタジクからの労働移民が存在しており、彼らの祖国への送金は、この国のGDPの30%から40%を占めている。つまり統合のプロセスは、タジク指導部の政治的意志とは独立して進んでいるのだ。キルギスの国家予算に関しても、状況はほぼ同様だ。このようにプーチン大統領の今回の電撃訪問の課題の一つは、訪問中に各国の指導者達と、ロシア経済安定化の条件の中で、ユーラシア統合の未来に関し、落ち着いた意見の交換をする事であった。

そしてもう一つ焦眉のテーマとして挙げたのが、安全保障問題だった。

シリア情勢は「ダーイシュ（イスラム国）」が少なくとも領土を持った存在としては、数週間しか持たないところまで追いつめられていることは明白だ。「ダーイシュ」の指導者バグダディ容疑者はすでに、自分達の支持者らを山岳地帯に隠すか、あるいはシリアやイラクの領内にやってきた彼らを元いた場所に戻そうと考えている。これはすなわち、およそ5,000人の戦闘員が、中央アジア諸国に戻り得ることを意味している。イスラム過激派が、ここ数年、安全保障上の基本的問題となっている国々にとっては、これは悪いニュースだ。

イスラム過激派の立場が強いタジキスタンが、実に様々なイスラム戦闘グループが集中するアフガニスタンと境を接していることを考えるならば、プーチン大統領の今回の中央アジア訪問の中で、イスラム過激派対策が主要なテーマとなった事は十分理解できる。アルマアタ、ドゥシャンベ、ビシケクでは、アフガニスタンとのC I S南部境界線を集団安全保障条約の枠内で強化する事に、ロシアが援助するとの提案を受け入れる用意のあることが確認された。

そしてさらにもう一つ、今回のプーチン歴訪の前提条件となったのは、「トランプ・ファクター」とも言うべきものだ。ホワイトハウスの新しい主にトランプ氏がなり、対外政策について驚くべき発言がなされたことは、中央アジアに当惑を呼び起こした。トランプ大統領がTPP（環太平洋経済連携協定）から離脱した事、一つをとっても、経済統合に対する懐疑的な見方が生まれた。伝統的に米国寄り、米国の物質的・精神的支持を受けてきた中央アジアの政治的在野勢力の代表者も、動揺し始めた。対外政策において多角的アプローチを目指しながら、世界政治のプレーヤーの間で、自分達にとって最大の利益を得ようと、それを巧みな駆け引きとして用いてきた中央アジアの政治家らにとっても、新しい現実を評価するのは容易ではない。

そうした状況の中で、プーチン大統領は、歴訪を通じて、中央アジアとロシアが、安全保障面でも経済面でも、一時的ではない共通の利益で結ばれていることを明白に示した。そしてクレムリンも、こうした政治的方向性を、いかなる困難があろうとも、国際情勢がどのように変わろうとも、変えるつもりのない事を確認している。

<http://sptnkne.ws/dMKy>

欧州理事会、ロシアとウクライナの市民に対する制裁を6ヵ月延長

(スプートニク 2017年03月14日 02:10)

© AP Photo/ Yves Logghe <https://goo.gl/1Wr5lX>

欧州理事会は13日、書面による手続きで、EUが「ウクライナの領土保全を損ねた」責任があると考えているロシアとウクライナの個人および団体に対する制裁を9月15日まで6ヵ月延長した。

制裁リストには現在、146個人と37団体が含まれている。EUはロシアへの再統合に関するクリミアの住民投票後の2014年3月17日、「ウクライナの領土保全と独立の脅威へ対抗」する個々の制裁を承認した。

これを受けロシア指導部は、クリミアの住民は国際法と国連憲章に完全に合致した民主的な方法でロシアへの再統合に投票したと繰り返し発表した。

<http://sptnkne.ws/dMQX>

ユーロビジョン2017 障害者のロシア代表がなぜ「敵」に？

(スプートニク 2017年03月14日 02:09)

© 写真: Channel One Russia/Courtesy of PR-service of Yuliya Samoylova 1/2
<https://goo.gl/yGLmlx>

欧州国別対抗歌謡際「ユーロビジョン」にロシア代表として出場するユーリヤ・サモイロワさんが、サイト「Mirotvorets」(日本語:平和維持者)でウクライナの「敵」リストに含まれた。「Mirotvorets」がツイッターで伝えた。

「Mirotvorets」は、障害を抱えるロシア代表のサモイロワさんが「敵」リストに加えられたことについて、「2015年に組織の一員としてウクライナの国境を違法に越えた」のがその理由だと主張している。

またサイトには、サモイロワさんの出生地、居住地、電話番号、SNSのプロフィールへのリンクが掲載された。なお今のところロシア側はこれについて一切コメントしていない。

[twitter.com/ https://goo.gl/OIbRGS](https://twitter.com/https://goo.gl/OIbRGS)

「Mirotvorets」は、「ウクライナの敵」を捜すウクライナのデータベースで、ウクライナの議員らの提案で設立された。

「Mirotvorets」には、現ウクライナ政権に対して野党的立場をとる人々の個人情報やアドレスが

掲載されており、彼らの多くがウクライナ過激派につけまわされている。

ユーロビジョン・ソング・コンテスト (Eurovision Song Contest) は、欧州放送連合 (E B U) 加盟放送局によって開催される、毎年恒例の音楽コンテスト。

大会では、各国代表のアーティストが生放送でそれぞれ自らの楽曲を披露し、各参加国が他国に投票して大会の優勝者を決定する。大会は 1956 年の第 1 回大会以降、毎年開催されており、世界的に見ても長寿のテレビ番組のひとつであり、その視聴者の数も 1 億人から 6 億人程度とされている。2017 年 5 月にウクライナの首都キエフで開催されるユーロビジョンには 34 カ国が参加する見通し。

<http://sptnkne.ws/dMRV>

二度目の試み：スコットランドが再び独立に関する住民投票要求へ

(スプートニク 2017 年 03 月 14 日 02:09)

© Sputnik/ Robert Perry <https://goo.gl/TqURXL>

スコットランドは来週、独立に関する二度目の住民投票の実施について合意する方針。スコットランドのニコラ・スタージョン第 1 首相が明らかにした。

スタージョン氏によると、合意された場合、二度目の住民投票は 2018 年秋から 2019 年春までに実施される。

2014 年、スコットランドは住民投票で英国に残ることを決めたが、与党・スコットランド国民党の指導部は、英国が E U からの離脱を決めた後、状況は大きく変わったと考えた。

複数の情報によると、スタージョン氏は 3 月 17 日から 18 日にアバディーンで独立に関する新たな住民投票を実施する問題を提起する可能性があるという。

<http://sptnkne.ws/dMVQ>

ウェブの生みの親が語る、将来のウェブを脅かす 3 つのもの

(スプートニク 2017 年 03 月 14 日 05:50)

© 写真: Pixabay <https://goo.gl/ArrhzR>

英国の計算機科学者であり、ワールドワイドウェブの考案者の 1 人、ティム・バーナーズ＝リー氏がウェブの発展を阻害する主な脅威 3 つを語った。

「インターネットの父」は、その3つとは、個人情報コントロール喪失、誤った情報の拡散、政治広告の不透明さだと述べた。サイト「Quartz」が報じた。

リー氏によると、政府はインターネットにおける私たちの一步一步に対する監視を強めており、プライバシーに対する私たちの権利を侵害する極めて過激な法を取っている。政府自国民のための最良の意図によって導かれていると考えられている国でさえ、総監視はあらゆる境界を超える。

さらに、誤解を招く情報の拡散も問題だ。フェイクニュース拡散者は財政的、政治的利得を得ており、利用者の好みを知っているソーシャルメディアサイトや検索システムは、利用者がクリックしたくなるようなリンクを示す。そのことによって、利用者は自身に関心のあるページしか目に見えないようになる可能性がある。

<http://sptnkne.ws/dNdV>

正男氏家族、マレーシア側は遺体引渡が3週間以内と提示

(スプートニク 2017年03月14日 06:59)

◎ 写真: screenshot from video message on youtube <https://goo.gl/yeHX2f>

マレーシアで殺害された北朝鮮の金正男氏の遺体について、マレーシアのスブラマニウム保健相は13日、記者団に対し、「(正男氏には)妻と子どもがいる。遺体の身元が確認されたため、妻や子が遺体の引き渡しを要求してくることを期待する」と述べた。

その上で「われわれはこの問題が2～3週のうちに解決されることを願っている」として、正男氏の遺族に向け、2～3週間以内に遺体を引き取る意思を示すよう呼びかけた。

遺族が名乗り出てこなかった場合は、政府内で協議して遺体の扱いを決めることになるという。

マレーシア当局は10日、遺体の身元が金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働党委員長の異母兄である正男氏であることを確認したと発表しており、これを黙認している北朝鮮とマレーシアが遺体の扱いをめぐる、近日中に会談を行うとみられている。そのため、遺体の引き渡しについて遺族に向け具体的な期限を初めて示したことに注目が集まっている。

マレーシア側はこれまで、遺体を正男氏の2番目の妻イ・ヘギョン氏、息子のハンソル氏、娘のソルヒ氏に引き渡すとの立場を示していたが、2～3週間以内に意思表示がなかった場合は、別の遺族に引き渡す可能性があることを示したものと受けとめられる。その場合は、異母弟の正恩氏に引き渡される可能性もある。

先月13日に正男氏が殺害されてから、マレーシア当局はマカオ在住のハンソル氏、ソルヒ氏に遺体を引き渡そうとしたが、マカオを管轄する中国当局により両氏のマレーシア訪問が実現せず、遺

体を引き取ることはできなかった。そのため、今後も両氏が遺体を引き取るのは難しいとみられる。

聯合ニュースが報じた。

<http://sptnkne.ws/dNet>

ロシアにあんこを広めた伝説のたいやき屋

(スプートニク 2017年03月14日 07:34 徳山あすか)

◎ 写真: Anastasia Berezenets <https://goo.gl/leXUyM>

ロシア人にお土産をあげるとき、長らく「あんこは避けた方がいい」と言われてきた。しかしそれも、もう時代遅れかもしれない。何しろサンクトペテルブルグ発の「たいやきカフェ」が人気を博し、ついにモスクワ進出まで計画しているというのである。

たいやきカフェのオーナー、アナスタシア・ベレゼニエツさんは、超・あんこ党。旅行先のニューヨークでどらやきを食べ、あんこの何ともいえない甘みと美味しさに感動した。地元・ペテルブルグに戻った彼女は「あんこロス」になり、自分であんこを広めることを決めた。しかし、どらやきは見た目的に普通で、ロシアの朝食の定番「オラードウシキ」に似てもある。そこで、目と舌の両方で楽しめるたいやきカフェを始めることにしたのだ。

独学でたいやきのレシピを研究し、一店舗目が軌道にのり始めた頃、アナスタシアさんに転機が訪れる。日本のテレビ番組の助けで、日本へたいやき修行に行けることになったのだ。子どもの頃から日本が大好きだったアナスタシアさんは夢のような気持ちだった。アナスタシアさんを受け入れてくれたのは北陸一美味しいと言われている「わかば富山店」。特に、頭から尻尾までじっくり詰まったあんこの美味しさには定評があり、県外からもたいやきを求めて来店する人が後を絶たない。この店の味を支えているのは、この道50年以上の職人で、店主の小澤雄一さんである。

小澤さんはアナスタシアさんについて「優しくて気持ちの良い子で、仕事に対する、つまりたいやきに対する強い気持ちがあります。商売の素晴らしいセンスをもっていて、ロシアであれだけのことができるのはすごいと思います。店舗を増やすのは簡単ではないので、逆に、彼女に教えてもらわないといけませんね」と話す。

アナスタシアさんと小澤さん

◎ 写真: Anastasia Berezenets <https://goo.gl/E10VSX>

実際に小澤さんのもとで修行できたのはわずか4日間という短い期間だったが、アナスタシアさんは今でも小澤さんのことを「先生」「日本のお父さん」と呼び、尊敬して慕っている。修行後、たいやきへの愛はますます加熱し、昨年サンクトペテルブルグに面積の大きい二店舗目をオープンさせた。看板メニューも、それまで使っていた中国産のこしあんから、小澤さんに教わったレシピ

に基づいた粒あんに変更した。アナスタシアさんは開店資金を捻出するため、なんとマンションを売却。それでも足りなかったのでクラウドファンディングで資金を募ったところ、65万ルーブル（約126万円）集まり、目標額に到達し開店にこぎつけることができた。なんと最も多額の寄付をしてくれたのは、日本人男性だった。アナスタシアさんは「その方に、本当に心から感謝しています」と話す。

ロシアでは、カフェは日本のレストランのような機能をもつ。「きちんとした食事もできるカフェにしたい」ということで、たいやき以外にもカレーライスなど新メニュー開発に余念がない。桜餅など純粋な和菓子から、ほうじ茶クリームプリンなど、和洋折衷のスイーツもある。また、店舗では草履作り、墨絵、生け花、書道など各種マスタークラスも開催されている。ロシアにおいて日本好きの人々は増えてきたが、まだまだ日本への旅行は敷居が高く、若い人にとって旅費を工面するのは簡単ではない。たいやきカフェは日本に行かずして日本文化に触れられる貴重な場となっているのだ。

アナスタシアさん（前列左）と仲間たち

◎ 写真: Anastasia Berezenets 1/5 <https://goo.gl/XA2WAQ>

ペテルブルグにはたいやきカフェの他にも、セバスチャンさんのたこやき店、仙台ラーメンのヤルメン、お茶の福寿園など、日本の雰囲気を楽しめるスポットがたくさんある。ここ近年、日本ブームが広がっている理由について、アナスタシアさんは「時が来たということ。日本にあこがれて、自分の夢を実現したいと考える世代が、ようやくそれを実行できる年齢になったのだと思います」と話している。三店舗目の開店が待ち遠しい。

<http://sptnkne.ws/dNec>

スターリンは強制をあてにしプーチンはプラグマチズムに期待する

（スプートニク 2017年03月14日 09:01 アンドレイ・イルヤシェンコ）

◎ Sputnik/ Andrei Stenin <https://goo.gl/KuluX5>

このところロシア人の間で益々、1920年代末から1953年3月3日に亡くなるまで当時のソ連邦を統治したスターリンに対する肯定的評価が高まっている。アンケートに答えた人のうち46%が、スターリンに対し「感嘆」「尊敬」「共感」といった感情を持っている。これは、ロシアを代表する世論調査機関の一つ「レヴァダ-ツェントル（センター）」が実施した調査によるものだ。

そして大体同じくらいの人達が、スターリンはロシアの歴史において肯定的役割を果たしたとみなしている。しかし以前の年次調査では、三分の二もの人達が、罪もない何百万もの人々の殺害に責任がある独裁者とスターリンを捉えていた。今年の調査でも、アンケートに答えた人のうち約半数は、スターリン弾圧を犯罪であるとしているが、そうした中には政治的に必要不可欠なものがあったと考える人の割合がますます増えている。このように、スターリンに対する評価は一様ではな

く、しばしば正反対であるにもかかわらず、ロシア社会における彼の人気は、ここ 16 年間で今ピークに達している。これは一体なぜであろうか？

スターリンという人物の複雑さは、公式的見解の中にも反映されている。かつてプーチン大統領は、次のように述べた—

「スターリンの指導のもとで国は農業国から工業国になった。確かに農民階級は残らなかったが、実際のところ工業化が行われた。我々は、大祖国戦争に勝利した。誰が何と言おうと、勝利は達成された。」

またプーチン大統領は、スターリンが行った迫害について「国家統治の容認できない手段」と呼んでいる。

「レヴァダーセンター」のアレクセイ・グラジダンスキイ副所長は、ロシア人の間でスターリン人気が高まっている理由について、次のように説明した—「スターリンは、ロシア人の意見では、戦争の時代、強く厳しい手が求められていた危機的時代に国を導くには相応しい人物だった。その意味で今も彼は、指導者としてより相応しい人物だ。ただロシアの人々は、そうした時代に生きたくはないと思っている。」

こうしたロジックは、ロシアにおけるソ連の他の指導者達に対する評価でも確認する事ができる。今のロシア人にとって、最も不人気な政治家は、フルシチョフ、ゴルバチョフそしてエリツィンといった人達だ。その原因は、3人の指導者が失敗した改革や冒険主義的対外政策を人々に連想させるからである。その結果、ロシアの国際的地位は悪くなった。フルシチョフについて言えば、人々はまず、食糧不足を呼び起こした疑わしい革新的農業政策、そして外交ではあの「カリブ危機」の挑発を思い出す。ゴルバチョフの場合は「ペレストロイカ」の挫折と冷戦の敗戦、エリツィンについては、ソ連崩壊と10年に及んだ経済危機が思い起こされる。フルシチョフは、1980年までに共産主義社会が実現されると約束し、ゴルバチョフは民主主義が勝利すると請け合い、エリツィンは市場経済化での繁栄をぶち上げた。一方スターリンは、社会主義による世界革命という神話を捨て去り、国の工業化に取り組んだ。それは多くの点で、第二次世界大戦におけるソ連の勝利を保証するものとなった。

さてプーチンだが、彼はエリツィン時代の無秩序を克服し、基本的な国家機構の活動を回復させた。その統治下、国民の生活レベルは著しく向上し、人口動態学上の危機克服においても前進が見られた。プーチン時代は今も続いている。その評価を下すのは、次の世代であり、まだ先のことになるだろう。

しかし3年前、AP通信とロシアのテレビ第一チャンネルのインタビューの中で。プーチン大統領は、自分自身を「保守的傾向を持ったプラグマチスト」と呼んだことは特筆に値する。

彼はまた、政治的保守主義の、彼の眼から見た2つの特質について指摘した。それは、伝統的価値観を支えとしながら、発展に力点を置くことである。現在、ロシア国民の間で彼の支持率は高く、

83%に達している。この事は、彼の政治的信念が、まさにロシアで求められているものである事を証拠立てている。

プラグマチズムは、ロシアの対外政策でもはっきり示されており、大統領令により、その主な原則として承認されている。恐らく、プラグマチズムこそが、その助けを借りて対日関係を含め、ロシアの抱える多くの対外諸問題を調整できる、まさに道具と言えるだろう。何はともあれ、対外政策の具体的成果を求めるロシアの姿勢は、明白である。

<http://sptnkne.ws/dNek>

マスコミ：トランプ大統領は「ダーイシュ」との戦いに関するロシアとの協力拡大を計画していない

(スプートニク 2017年03月14日 10:14)

© AFP 2017/ JIM LO SCALZO/EPA POOL <https://goo.gl/4FkYVI>

トランプ米大統領の国家安全保障に関する顧問チームは、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」との戦いに関するロシアとの協力拡大を計画していない。米雑誌USニュース&ワールド・レポートが、消息筋の話を用いて報じた。

トランプ氏は1月末、ジェームズ・マティス国防長官に、米国を主導とした有志連合のための新たな同盟国を探すことを規定した「ダーイシュ」との戦いに関する計画の策定を命じた。

消息筋は「我々のプロの軍人と戦略が考えているのは、意図的ではない攻撃の警告や互いに損失をこうむることを避けることだけだ。彼らはロシアが（同盟国として）我々に利益をもたらすという理論に対して非常に懐疑的だ」と伝えた。

それより前にシリアのアサド大統領は香港の『フェニックス』テレビのインタビューを受けて、ロシアがシリア領内でダーイシュ（イスラム国、IS）と効果的に戦っている唯一の真剣な軍だと述べた。

<http://sptnkne.ws/dNgd>

ヒトラー作の絵画が展示 イタリア

(スプートニク 2017年03月14日 11:31)

© Sputnik/ Alexander Vilf <https://goo.gl/VAPfzj>

イタリアの町サロで、『狂気の美術館』展覧会が開かれた。展覧会ではドイツ第三帝国のアドル

フ・ヒトラーによる絵画などが展示されている。13日、サイト「The Local」が報じた。

展覧会を組織したビットーリオ・スガルビ氏は、「これはただのゴミ、大したことのない人間の絵だ…。あなたが目にするのは偉大さではなく貧相さだ。これは独裁者の作品ではなく、悪人のそれだ」と語る。同サイトが指摘するところ、展覧会には200店ほどの絵画、写真、彫像、マルチメディア・インスタレーション作品が展示され、今年11月16日まで続く。

twitter.com/ <https://goo.gl/GF0oQs>

ヒトラーはウィーン芸術アカデミー入学を二度試みたが、二度失敗した。プロとしての芸術家には結局なれなかったにもかかわらず、ヒトラーの作品は死後数十年、巨額で売却された。

先に海外の掲示板サイト「Reddit」で、ナチス党首のヒトラーがスタジアムの観客席に座りながら神経質に揺れているGIF画像が人気を博していた。

<http://sptnkne.ws/dNgJ>

オスプレイ、横田基地の配備 2019年10月以降に延期

(スポーツニク 2017年03月14日 11:37)

◦ Flickr/ Tony Boyer <https://goo.gl/DfS7iS>

米国防総省は13日、特殊作戦用の垂直離着陸輸送機オスプレイCV22の米軍横田基地（東京都福生市など）への配備開始が、従来予定の2017会計年度第4四半期（同年7～9月）より最長3年遅れ、20会計年度（19年10月～20年9月）になると発表した。配備が遅れる理由などは説明されていない。

米軍は2015年5月、2017年後半にオスプレイ3機を横田基地に配備すると発表。21年までに7機を追加配備し、計10機を常駐させる計画だった。CV22は空軍仕様で、急襲作戦にも用いられる。海兵隊仕様のMV22は普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に配備されている。時事通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dNfB>

16日発効のトランプ・新入国中止令、6州が執行停止を求め、提訴

(スポーツニク 2017年03月14日 12:55)

◦ AP Photo/ Chris Pizzello <https://goo.gl/CpKctk>

米西部ワシントンなど6州政府は13日、イスラム圏6カ国からの入国と全ての難民の受け入れを

一時禁止する大統領令の執行停止を求め、シアトル連邦地裁に提訴した。大統領令は16日に発効を控えており、地裁は早ければ15日に口頭弁論を開くと原告に伝えた。

米メディアによると、原告はワシントンに加え、東部ニューヨーク、マサチューセッツ、メリーランド、西部オレゴン、カリフォルニアの各州。これとは別にハワイ州も7日、ホノルル連邦地裁に同様の訴訟を起こし、口頭弁論が15日にある。

連邦政府はホノルル地裁へ提出した準備書面の中で、大統領は「国益にかなうと判断すれば、あらゆる外国人の入国を制限あるいは一時禁止できる」広範な権力を保持すると反論している。

イスラム圏7カ国を対象にした旧大統領令は、ワシントン州などが執行停止を求めて提訴し、シアトル連邦地裁が即時停止の仮処分を決定。連邦控訴裁もこれを支持した。ワシントン州は新たな大統領令にもこの決定を適用するよう求めたが、地裁はこれを却下し、新たに訴訟手続きをとるよう求めていた。

今月10日に中西部ウィスコンシン州のマジソン連邦地裁が大統領令の執行を停止する仮処分をしたが、適用対象者は提訴した州在住のシリア難民男性と、その家族のみ。ワシントン州などによる訴訟は大統領令の全面的な執行停止を求めており、訴えが認められれば全米に効力を及ぼす。毎日新聞が報じた。

<http://sptnkne.ws/dNfZ>

マスコミ：ベルギーはトルコの政治家の訪問を禁止する方針

(スプートニク 2017年03月14日 15:52)

© Fotolia/ Jenifoto <https://goo.gl/XMmu3r>

ベルギーは、トルコとオランダの間で生じた状況により、トルコの政治家らによるベルギー訪問の中止を求める可能性がある。イズヴェスチヤ紙が、これを提案したベルギーの野党「フラムス・ベランフ」指導部の情報を引用して報じた。「フラムス・ベランフ」は、自分たちの立場を議会で発表する意向で、欧州の多くの政党が、それぞれの国の政府にトルコへの圧力を強めるよう呼びかける準備をしているという。

「フラムス・ベランフ」のトム・バン・グリーケン氏は「我々はトルコに対するオランダの政策を完全に支持している。他の国々は欧州の政治状況に影響を与えるべきではない。欧州の多くの政党がオランダに同調している。そして彼らはまもなくこの同調を示すだろう」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dNjU>

米司法省、期限までにトランプ大統領「盗聴」の証拠を提出せず

(スプートニク 2017年03月14日 16:17)

© AP Photo/ Alex Brandon <https://goo.gl/sRkpaz>

米司法省は、2016年の大統領選挙中にトランプ氏が「盗聴」された問題に関する証拠を集めるためにさらに時間を与えるよう議会に求めた。ロイター通信が報じた。

これに関する書簡が、先に盗聴に関する証拠を提出するよう司法省に要請した下院情報委員会に送られた。下院情報委員会は13日までに証拠を示すよう司法省に要請していた。

トランプ大統領は3月上旬ツイッターで、選挙中の昨年10月にオバマ前大統領がトランプ氏の電話を盗聴したと主張した。トランプ氏はこの状況を、最終的にニクソン大統領を辞任に追い込んだ1972年の有名なウォーターゲート事件に例えた。

<http://sptnkne.ws/dNk3>

ティラーソン米務長官の韓国訪問は、北朝鮮問題のターニングポイントとなる－韓国外務省

(スプートニク 2017年03月14日 16:45)

© AFP 2017/ Saul Loeb <https://goo.gl/xD810m>

ティラーソン米務長官の韓国訪問は、北朝鮮の脅威に対応する問題のターニングポイントとなる。通信社ブルームバーグが、韓国外務省の声明を引用して伝えた。また聯合ニュースは、15日に金寛鎮（キム・グァンジン）国家安保室長が米国を訪れ、ワシントンでマクマスター米大統領補佐官（国家安全保障問題担当）と会談し、北朝鮮の脅威について協議すると報じた。

ティラーソン国務長官は14日、アジア歴訪へ出発する。15日に日本の東京を訪れた後、17日に韓国の首都ソウル、18日に中国の北京を訪問する。

<http://sptnkne.ws/dNmh>

米国反ドーピング機関会長：WADAは「鳥小屋を守るキツネ」

(スプートニク 2017年03月14日 18:46)

© AP Photo/ Bernat Armangué <https://goo.gl/LJNGbT>

米国反ドーピング機関（USADA）のトラビス・タイガート会長は、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）について、現在の状況では独立機関ではないと述べた。ガーディアン紙が報じた。

タイガート会長はローザンヌでのWADAのシンポジウムで、WADAは違反と戦うための断固とした対策を承認することができないと述べた。

タイガート会長はまた、WADAは独立した機関かとの記者団からの質問に対し、これについては「話にもならない」とし、WADAは「鳥小屋を守るキツネだ」と述べた。英ガーディアン紙が報じた。

先にWADAのリーディー会長はシンポジウムで、ロシアにおけるドーピングとの戦いで大規模な作業を行う必要性を強調したが、同方向性におけるロシアの「明らかな進歩」を指摘した。

<http://sptnkne.ws/dNqw>

トルコ オランダとの高官レベルの関係停止へ

(スポーツニク 2017年03月14日 19:08)

© AFP 2017/ Adem Altan <https://goo.gl/v1HrUd>

トルコ政府は13日、オランダとの「高官レベルの関係」を停止する方針を示した。トルコのチャブシオール外相のオランダ入国禁止以降、両国の関係が悪化しているのを受けたもの。クルトゥルムシュ副首相が発表した。CNNが報じた。一時的に出国している駐トルコ・オランダ大使の再入国も認めない模様。

チャブシオール外相はオランダ西部ロッテルダムで政治扇動的な演説を予定し、入国を試みたが、オランダ当局が搭乗機着陸の許可を出さなかった。続いてトルコのカヤ家族社会政策相がオランダのトルコ総領事館入館を試みたが、当局に阻止され、ドイツへ出国させられた。

チャブシオール外相は13日、CNNのインタビューを受けて、自身がテロリスト扱いされた理由と、トルコ人がテロリストなのか、に対して疑問を呈した。オランダ側が述べた治安上の問題への具体的な説明はなかったと指摘。

さらに、オランダ含む欧州諸国で人種差別、イスラム、外国人嫌いの潮流が強まっていること、トルコの憲法改正への動きを欧州諸国が「妨害」を試みていると主張した。

チャブシオール外相の訪問拒否を受けて、トルコのエルドアン大統領はオランダ政府をナチスに例えた。オランダのルッテ首相はこの発言を強く非難した。

オランダのクーンデルス外相は13日、CNNのインタビューを受けて、国民投票に向けてトルコ政府のメンバーが現在オランダでキャンペーンを行うことはできないと述べた。

またロイターによると、ルッテ首相は両国の間で燃え上がったスキャンダルを背景にトルコが採

った外交的制限措置は不適切だと発言した。

<http://sptnkne.ws/dNq9>

中国、日米演習を緊張を高める原因と評価

(スプートニク 2017年03月14日 20:08)

◦ AP Photo/ Shizuo Kambayashi <https://goo.gl/FbQKW7>

華春瑩報道官は、日米韓が行う絶え間ない大規模演習は地域での絶え間ない緊張を作り出していると述べた。日米韓3カ国は14日、弾道ミサイル防衛の合同演習を開始した。

華春瑩報道官は記者会見で、「朝鮮半島の情勢はすでに十分、複雑で緊張している。我々は、関係諸国が状況をエスカレートさせるのではなく、この緊張を取り除くためにより多くの努力を行えるようになることを期待している…。

米韓日が絶えず行っている大規模軍事演習は絶え間ない緊張を作り出している。我々は、このような情勢はどの国にとっても良い要因ではないと考えている」と発言した。

日米間合同演習が開始されたのは、北朝鮮の弾道ミサイル発射実験の約2週間後。

<http://sptnkne.ws/dNsP>

北朝鮮 金正男氏殺害は「米韓による暴挙」

(スプートニク 2017年03月14日 22:56)

◦ REUTERS/ KCNA <https://goo.gl/P7mDli>

北朝鮮のキム・インリョン国連次席大使は13日、米ニューヨークの国連本部での記者会見で、金正男氏殺害事件は「米韓当局による暴挙」だと主張した。毎日新聞が報じた。キム次席大使は「北朝鮮のイメージを傷つけ社会制度を転覆する政治的目的」で、米国が韓国から猛毒の神経剤「VX」をマレーシアに持ち込んだ可能性がある」と指摘。北朝鮮の関与は再度否定し、殺害された人物も「キム・ Chol」だと主張した。

金正男氏は2月13日にクアラルンプールで殺害され、マレーシア当局は遺体からVXが検出されたとするが、北朝鮮は死因が心臓発作による可能性が濃厚としていた。

<http://sptnkne.ws/dNxF>

エルドアン大統領、テロを支援しているとしてメルケル首相を非難

(スプートニク 2017年03月14日 23:32)

© AFP 2017/ Adem Altan <https://goo.gl/OHWbKV>

トルコのエルドアン大統領は、オランダ当局がトルコのチャブシオール外相が乗った飛行機の着陸を許可せず、入国を認めなかったというスキャンダルのあと、ドイツのメルケル首相がオランダ側についてとして非難した。AFP通信が報じた。

先にドイツの外相は、トルコでの国民投票の際のドイツ市民への潜在的な危険性を警告した。エルドアン大統領は「メルケル氏よ、なぜあなたはそれについて何もしようとしませんか？」と述べた。AFP通信が報じた。

またエルドアン大統領は、オランダ当局がトルコのチャブシオール外相の入国を認めなかった11日の出来事の後で始まったスキャンダルで、メルケル首相がオランダ側についてとして非難した。

ドイツとトルコの関係は、トルコのイスタンブールでトルコ系ドイツ人記者のデニズ・ユジェル氏が逮捕された後、悪化した。トルコ当局は、ユジェル氏に「テロ組織への参加、情報の不正使用、テロの宣伝」をした容疑をかけている。メルケル首相はトルコに対し、ユジェル氏の釈放と報道の自由の尊重を求めた。

先の報道では、トルコ政府は13日、オランダとの「高官レベルの関係」を停止する方針を示した。トルコのチャブシオール外相のオランダ入国禁止以降、両国の関係が悪化しているのを受けたもの。クルトゥルムシュ副首相が発表した。

<http://sptnkne.ws/dNyK>

プーチン大統領 西側諸国を反汚職委員会による操作と非難

(スプートニク 2017年03月14日 23:48)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/sL55wf>

ロシアは西側のある諸国とは違い、内政分野を操作する目的で反汚職委員会とやらの創設を許すことは絶対がない。プーチン大統領が次のように述べた。

「世界支配を目指す幾つかの国はいわゆる反汚職委員会創設を実践し始めた。それは何よりも、創設目的のためではなく、内政分野における操作の目的で利用される当局の平行的機関だ。」

プーチン大統領は、「ロシアが自国で何かを創設させることは絶対がないが、幾つかの諸国ではそのような機関がすでに創設済みだ。東欧でだ。しかし、市民の利益を保障するためには自身が、

汚職対策と最も広い意味での法律違反對策において、結晶のように正直で効率的である必要がある」と強調した。

先の報道では、プーチン大統領がトランプ大統領と会談を行うのはおそらく、G20 サミットにおいて。ロシア大統領府のペスコフ報道官がCNNテレビのインタビューを受けて、次のように述べた。

<http://sptnkne.ws/dN2A>

「世界で最も強大な人間」－CNNがプーチン大統領に関する映画を公開

(スプートニク 2017年03月15日 02:25)

© Sputnik/ <https://goo.gl/4vaVQD>

米CNNテレビが14日深夜、プーチン大統領に関する、『世界で最も強大な人間』との題名の映画を公開した。作者はジャーナリストのファリド・ザカリヤ氏。映画では、「プーチン大統領の民衆蜂起に対する恐怖」と、「大統領がロシアで全てをコントロールしている」と語られている。しかし、ボリス・エリツィン元大統領の後に大統領になった時、民衆はプーチン大統領を肯定的に迎えたという事実も指摘された。

またもや、ロシアの米大統領選挙への「介入」のテーマが持ち上がり、ロシアのクリミア再統合が言及されている。映画には専門家として、ゲーツ元国防長官、「ニュー Yorker」編集長デイヴィッド・レムニック、ジャーナリストのマーシャ・ゲッセン、ユリア・ヨッフエが出演した。

ロシア大統領府のペスコフ報道官によると、映像はヒステリックで感情的なラインを維持しており、しばしば作り話である意見に依拠している。プーチン大統領自身はまだ映画を観れていない模様。先の報道では、ロシアのペスコフ大統領報道官は、CNNのインタビューで、2017年1月28日に行われたプーチン大統領とトランプ大統領の電話会談の詳細について少し語った。

<http://sptnkne.ws/dN6G>

フィヨン仏大統領候補 公金流用疑惑で追訴

(スプートニク 2017年03月15日 06:33)

© AFP 2017/ Guillaume Souvant <https://goo.gl/eeYcsI>

フランス大統領選挙候補のフィヨン氏が、家族を架空雇用して給与として公金を流用した疑いで追訴された。ロイターが検察の情報として報じた。

先の報道では、フィヨン氏は、3月15日に裁判所に出頭することを認めた。追訴される可能性がある。なおフィヨン氏は、誰が仏大統領になるのかを決めるのは有権者だと指摘した。ペネロプ氏をめぐるスキャンダル報道を展開し始めたのは仏の週刊新聞「カナール・アンシェネ」。「カナール・アンシェネ」紙によればペネロプ氏は8年にわたって議員秘書報酬を受け取っていた。「カナール・アンシェネ」紙が支払票を調べたところ、ペネロプ氏は1998年から2002年の期間、議員へのサービスを支払う基金から支払を受け取っていた。

<http://sptnkne.ws/dNEm>

イラン ドローン無力化システム展開へ

(スプートニク 2017年03月15日 08:27)

◎ 写真: Official website <https://goo.gl/wRsbGh>

最新鋭システムは操作者とドローン間の信号を妨害するだけでなく、ドローンの操作を乗っ取ることすらできる。イランは対ドローン新型兵器展開を始めた。これは普通のライフルに似た形状の電波妨害装置だ。イランが主張するには、発信機からの信号を妨害してドローンを操作不能にするだけでなく、操作者を襲うよう再プログラミングすることすら可能。米ワシントン・ポストが報じた。イランは、兵器がすべての実験をクリアし、効果性を証明したと主張。同兵器はモスルで大量に使用されている米国のドローンに対して効果的に用いることができる。

<http://sptnkne.ws/dNEq>

日本人にとってのウラジオストク：浦潮本願寺からスマートシティまで

(スプートニク 2017年03月15日 09:27)

◎ Sputnik/ Vitaliy Ankov <https://goo.gl/uV7X0f>

3月初旬、日本の民間企業や国土交通省の代表者らがウラジオストクを訪れた。訪問の目的は、ウラジオストク凝縮の発展共同マスタープランを協議すること。沿海地方のワシーリー・ウソリツェフ副知事によると、沿海地方当局は都市開発の戦略的計画を含む日本との協力に関心を持っている。副知事は特に、日本は隣国であるばかりでなく、アジア太平洋地域におけるロシアの信頼できるパートナーだと指摘し、次のように語ったー

「累積投資では、沿海地方の外国パートナーの中で日本が1位だ。沿海地方では今、日本が参加する企業が30社以上活動しており、日本の銀行2行の支店が設置されている。『住友』が参加する木材加工や、『マツダ』との自動車組み立て製造に関するプロジェクト（同プロジェクトは新たな刺激を受けた）など、大きな成功を収めているビジネスの例もある。経済特区の新たな特権を使ってエンジン製造を展開する計画もある」。

ロシア・エコロジー建設評議会のアレクセイ・ポリャコフ理事長は「スプートニク」のインタビューで「日本はスマートシティ概念に関するリーダーの一つであり、ロシアを含め世界中の国々とそれを積極的に分かち合っている」と述べ、次のように語っている。

「日本の建築家たちは米国、中国、その他の国々の都市のためにマスタープランをつくっている。さまざまな都市、さまざまな国があり、彼らにとって最も切実な問題が取り上げられている。野村総合研究所のスタッフたちはロシアのためにヴォロネジ、ヴォルゴグラード、ノボシビルスク、カザン、ウラジオストクの都市インフラを向上させる五つの主要なベクトルを提案した。そこには都市交通問題の解決、有害物質を使わない住宅建設、産業廃棄物や一般廃棄物の進歩的な処理方法の導入が含まれている。ロシアの都市にとってこれらはきわめて重要かつ必要だ。ヴォロネジのための計画の作成は大方終わった。そしてそのうちの多くのプロジェクトが、ウラジオストクにとっても切実なものとなっている。だがウラジオストクは地域最大の巨大な交通ハブであり、そこから問題や課題が生まれている。だが日本人は同じような経験を有しているため、適切なものを提案するだろう。スマートシティ概念とは非常に多面的で、今も発展し続けている。その30年以上の歴史の間にたくさんの『アクセント』があった。現在は人に主要なアクセントが置かれており、すべての改善は人々の関心に基づいて行われている。スマートシティ最新版の3つのキーワードは、快適性、利便性、そして人の安全性だ。だが人々は快適さの受動的な消費者としても、実際に概念を実現する積極的な参加者としてもみなされていない。そのため環境教育やエネルギー消費における規律、ごみの分別、その他たくさんのことが必要だ。これに関する日本の経験はロシアにとってきわめて重要だ」。

ウラジオストクは日本人にとってヴォロネジよりもはるかに身近な都市だ。地理的に近いだけでなく、ウラジオストクの多くの建築遺産が、日本の精神を宿している。1880年代、主に長崎から大勢の日本人がウラジオストクへやってきた。まず最初に訪れたのは商人、宝石商、料理人、理髪師、そしてさまざまなサービス分野の従業員だった。彼らの中には、日本の商店の番頭としてウラジオストクにやってきた人たちもおり、すぐに町に慣れ、しだいに裕福になり、独立して商売を始めた。1903年には、ウラジオストクにあった281社のうち92社が日本人に所有されていた。露日戦争前にはウラジオストクに3,000人の日本人がおり、日本の商店は54店、大きな事務所や銀行も複数あった。1908年には日本貿易事務館が領事館となり、1916年に領事館のための新しい建物が建てられ、今に至っている。1946年5月に在ウラジオストク日本総領事館は閉鎖されたが、1992年に再び開館された。

1914年から1937年までウラジオストクでは西本願寺（浦潮本願寺）が活動していた。浦潮本願寺の最後の住職の妻、戸泉米子さんの著書「リラの花と戦争」では、寺とウラジオストクでの生活が書かれている。さらにもう一つ、日本と密接につながりを持つものがある。それは与謝野晶子の歌碑だ。与謝野晶子は1913年、シベリア鉄道で恋人のいるパリへ向かうためウラジオストクを訪れた。そしてウラジオストクで歌集『夏より秋へ』の中の「旅に立つ」という詩が詠まれた。ウラジオストクの住民たちは今もこの詩が刻まれた歌碑に花を手向けている。

<http://sptnkne.ws/dNEr>

韓国、中国修学旅行を相次ぎ中止、日本に振り替えも

(スプートニク 2017年03月15日 12:00)

© AP Photo/ Ahn Young-joon <https://goo.gl/b70hdF>

中国政府が「消費者の日」である15日から本格的に韓国旅行禁止措置に入る中、韓國小中高の中国修学旅行が相次いで取り止めの動きを見せている。高高度ミサイル防衛（THAAD）体系の韓国国内の配備によって、中国における韓国人への物理的攻撃や脅威に対する懸念が高まり、安全問題などの面から中国行きを断念している。

14日、忠清南道（チュンチョンナムド）教育庁によると、今学期に中国への修学旅行を予定していた同地域の小中高20校のうち14校が中国に行かないことにした。残り6校も中国ではなく、他の国あるいは国内への行き先変更を積極的に検討している。

論山（ノンサン）地域の高校12校は13日、海外研修地を中国から日本・大阪に変えた。当初、同地区の高校2年生およそ1,600人は4月24日から6月1日まで段階的に3泊4日の中国上海研修旅行に行く予定だった。この海外研修は、昨年につき2年連続で論山市が予算支援を行って組まれたものだった。ファン・ミョンソン論山市長は「中国現地の雰囲気良くないため、計画を見直して、日本にある百済文化遺跡探訪に行くことにした」とし「学校関係者や保護者らが話し合っ

て決めた」と話した。瑞山（ソサン）の大チョル（テチョル）中学校も5月の中国修学旅行計画を取り止めて江原道（カンウォンド）に変更した。舒川（ソチョン）の西都（ソド）小学校は近く、他の国に行き先を変更する予定だ。学校側は「中国現地の雰囲気が普通ではないというニュースに触れ、児童や保護者が不安に思っている」とし「児童や保護者の意見を取りまとめて決めたい」とコメントした。唐津（タンジン）地域の高校3校も修学旅行地の変更を検討している。中央日報日本語版 が報じた。

<http://sptnkne.ws/dNE8>

中国当局 南シナ海の係争中の島々での建設作業再開

(スプートニク 2017年03月15日 16:23)

© AFP 2017/ STR <https://goo.gl/kfDdvw>

偵察衛星が送ってきた写真によれば、中国当局は、南シナ海で領有権をめぐる周辺諸国と係争中のパラセル（中国名：西沙）諸島での建設作業を再開した。ロイター通信が伝えた。

民間企業 Planet Labs の衛星が3月6日に撮影した写真には、労働者らが島の一部で工事しており、おそらく北島（アンフィトリテ諸島に属する）の湾を利用する準備を進めているように見える。作業は、台風により昨年中断していた。

この問題に詳しい嶺南大学のチャン・バオフエヤ氏の意見では、パラセル諸島に施設を建設することで、中国当局は、南シナ海における自分達の立場を強め、より重要性の高いスプラトリー諸島での立場を確保できると見ている。

なお中国国防省スポークスマンは、通信社の取材に対し、島で何らかの仕事がなされていることについて「自分達は知らない」と答えた。

<http://sptnkne.ws/dNJn>

マレーシア副首相「殺害された人物が金正男氏である事は息子のDNA鑑定で明らかに」

(スプートニク 2017年03月15日 18:20)

© AFP 2017/ Yomiuri Shimbun <https://goo.gl/N1P5uG>

クアラルンプール空港で死亡した人物が、北朝鮮の指導者金正恩委員長の異母兄、金正男氏であることが、彼の息子のDNA鑑定によって確認された。AP通信が、ザヒド副首相の発言を引用して伝えた。キム・チョルという氏名の書かれたパスポートを所持していた朝鮮民主主義人民共和国市民は、2月13日クアラルンプール空港で不審な死を遂げた。マレーシア警察は、この男性の皮膚から神経麻痺物質 VX の痕跡を発見している。

<http://sptnkne.ws/dNNt>

サウジアラビア 副皇太子とトランプ米大統領の会談は2国間関係の歴史的転換点

(スプートニク 2017年03月15日 19:00)

© AP Photo/ Susan Walsh <https://goo.gl/GPQC8T>

ロイター通信はサウジアラビアの副皇太子の顧問官の言葉を引用し、ムハンマド副皇太子兼国防相とトランプ米大統領の会談は、二国間関係のターニングポイントになったと報じた。先にスパイサー米大統領報道官は、双方が「シリアにおける安全地帯」及びテロ組織「ダーイシュ(イスラム国)」について話し合った可能性もあり得ると述べている。ムハンマド副皇太子の顧問官は、今回の会談についてサウジ・アメリカ関係における「歴史的ターニングポイントである」と呼び、この会談により、政治・軍事・経済そして安全保障問題における二国間関係は大きく変化したと指摘した。顧問官の言葉によれば、会談の過程で双方は、イランが地域における重大な脅威であるとの点で意見の一致を見た、とのことだ。

<http://sptnkne.ws/dNPw>

経済のグローバル化離れの傾向としての日本とサウジの協力

(スプートニク 2017年03月15日 21:37 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ SPA <https://goo.gl/LTwyFB>

日本は、経済を立て直し石油依存から脱却する意向のサウジアラビアを支援する。サウジは日本企業の進出を促す特区を創設し、日本企業は有利な条件を得る。これらの意向は、3月13日に東京で日本とサウジアラビアの首脳が発表した両国の合意「日・サウジ・ビジョン2030」に盛り込まれている。共同通信が報じた。

サウジアラビア諮問評議会経済・エネルギー委員会のアブデル・ラフマン・アルラシディ委員長は「スプートニク」に、サウジは日本の投資家による国営企業民営化プログラムへの大規模な参加に関心を持っていると語った。日本は石油依存度の低い経済を構築するために、他に何をサウジに提案することができるのだろうか？ 匿名を希望するロシア人アラブ専門家は、「スプートニク」に次のような見解を示した—

「以前サウジアラビアは石油収入が大規模プロジェクトへ投資されていた時に国家資本主義型経済を構築した。新国王の下では経済の自由化と多角化の方向に方針が変更されている。そして日本との協力はちょうどこのような自由化に向けられている。石油大国ではなく、まさに日本の資本参加を得たサウジ経済の多角化を使って世界の経済関係にサウジを引き入れるというものだ。日本にとっては同国がサウジ市場を獲得するという点で有利だ。これは高い購買価値を持つ3,000万人の市場だ。さらにアラビア半島の他の国の市場への進出。合わせると4,800万人となる。」

なお日本はサウジで採れる石油や鉱物を強く必要としている。日本は同分野に投資する用意があるのだろうか？ 高等経済学院の日本専門家、アンドレイ・フェュン氏は、次のような見方を示している—

「私は日本が新たな技術を提供する用意を示す目的は、より安価な炭化水素だと考えている。まずサウジアラビアで採掘されているガスの液化に技術を提供できる。安価な炭化水素の他にこれも日本を大きく後押しするだろう。サウジアラビアからの巨大タンカーによる石油輸送は日本の造船業界にとってよい刺激となる。これが日本経済にとっての2つの主なプラス面だ。」

雑誌「エキスパート」の金融アナリスト、アンナ・コロエヨワ氏は、サウジアラビア国王の訪日はすでに歴史的なものと呼ばれていると指摘し、次のように語っている—

「国王の訪問には500人のビジネスマンや役人が同行している。サウジは自国製品の日本への輸出を軌道に乗せることに興味があるはずだ。今日これは特に切実なことだ。なぜなら昨年、原油価格下落を背景に日本とサウジの貿易額が著しく減少したからだ。共同経済ゾーンの企業はちょうど様々な特権を使用することができる。それはまず減税と金融支援だ。これはサウジアラビア製品を日本市場で促進するための素晴らしい可能性を提供する。また税制上の優遇措置や税関手続の簡素化は、日本企業がサウジアラビアで工場や研究センターを建設する刺激と

なる。すでに明らかになっているのは、サウジアラビアの政府系ファンドと日本の通信サービス会社『ソフトバンク』が協力し、2,500万ドルでテクノロジーに投資するファンドを立ち上げるとのことだ。これらの計画は、原油価格の下落で過去2年間財政赤字となっているサウジの経済多様化計画と完全に一致している。」

日本経済も長い間不況に陥っているため、それに劣らず輸出や投資の増加に務め、外国の新たな市場を模索している。アンナ・コロエヨワ氏は、さらに次のように続けている—

「すでにトヨタ自動車はサウジアラビアでスタッフの教育を開始しようとしていることが知られており、サウジに自動車組み立て工場を建設することについても検討する可能性がある。これらの大規模なプロジェクトは両国にとって間違いなく有益だ。協力分野にはエネルギー、産業、医療、社会インフラ、投資、金融など9つの方向性が含まれている。合意は合わせて30件以上のプロジェクトに関係している。」

なおコロリョワ氏は日本とサウジの協力について、世界経済における現在の非常に強い傾向として見なすことができるとの考えを示し、次のように語っている—

「今多くの国がグローバル化離れしており、グローバル化を信じるのを止め、さらに積極的に地域化を目指している。そのためサウジアラビアと日本の同盟はその道における非常に成功した例の一つになると考えている。両国は良好な産業と、産業企業の競争力のある協力の連鎖をつくる力を持っている。今日、世界経済はこのような例やプロジェクトを必要としている。なぜなら世界経済の成長率は極めて低いからだ。サウジには主要なプレーヤーとなり、米国や中国の代わりとなる力が十分にある。」

また日本とサウジは、世界最大の石油会社「サウジアラムコ」の株式を東京証券取引所に上場させる可能性についても協議を続けることで合意した。日本とサウジの協力はスケールの大きなものになることが約束されているとの結論を、確信をもって導くことができる。これが実り多き協力になるかは、時間の経過と共に明らかになるだろう。

<http://sptnkne.ws/dNQR>

FakeCheck:ニュースのウソを暴く特別プロジェクト「ロシア・トゥデイ」で始まる

(スプートニク 2017年03月15日 20:40)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/PTyPVD>

「ロシア・トゥデイ」は、世界の主要マスメディアが流す偽情報に対抗する目的で、新しいマルチメディア特別プロジェクト FakeCheck を始める。

「ロシア・トゥデイ」情報ニュース部のアンドレイ・キヤシコ副部長は、このプロジェクトについて

て次のように説明している—

「このプロジェクトは、事実を嘘と区別する助けとなるだろう。我々「ロシア・トゥデイ」のような別の観点から出されたニュースを嘘だと言いくるめる外国のマスメディアは、まさに、しばしば自身が真のフェイクニュースの源となり、それを拡散している。」

プロジェクト FakeCheck には、ロシア語と英語でアクセスでき、嘘のニュースにはすべて、綿密な分析がなされる。例えば、2016 年シリア北部のアレッポでの戦闘の際。町から逃げ出し救出されたという少女の写真が、Facebook や Twitter といったソーシャルネット上で広く拡散された話題となったが、実際のところ、この写真は「演出されたもの」で、2014 年にレバノンの歌手のためにビデオクリップが制作された際に、撮られたものだ。

<http://sptnkne.ws/dNRH>

ダマスカスの裁判所で自爆テロ 少なくとも 31 人死亡—マスコミ

(スプートニク 2017 年 03 月 15 日 22:44)

© AFP 2017/ Abd Doumany <https://goo.gl/gpW5Xe>

シリアの首都ダマスカスの裁判所で大きな爆発があり、数十人が死亡したほか、けが人も出ている。シリア司法相の補佐官が「スプートニク」に伝えた。なおこのような形で死傷者が出ているとの情報は確認されたが、その数は不明。シリアの SANA 通信は、ダマスカス警察関係者の情報を引用し、少なくとも 31 人が死亡したと伝えた。消息筋は SANA 通信「最初の情報によると、裁判所の建物でテロによる爆発があり、31 人が死亡したほか、けが人も大勢いる」と伝えた。

[twitter.com/ https://goo.gl/BSfRJI](https://twitter.com/BSfRJI)

[twitter.com/ https://goo.gl/MTPOUV](https://twitter.com/MTPOUV)

<http://sptnkne.ws/dNT5>

イタリアはユーロを拒否すべきか？

(スプートニク 2017 年 03 月 15 日 21:36)

© AP Photo/ Andrew Medichini <https://goo.gl/VR9PLP>

イタリア元首相のシルヴィオ・ベルルスコーニ氏は、欧州単一通貨ユーロは国際貿易のために維持されるべきだが、イタリアではユーロの代わりに「新たなリラ」が流通されるべきだと考えている。

ベルルスコーニ氏は 15 日付けのミラノ紙「Il Giornale」に掲載されたインタビューで、「複数のノーベル経済学賞の受賞者たちの話を聞き、私は我々にとって非常に高くつくであろうユーロ圏からの脱退をしないという意見に傾倒している。ユーロはまず国際貿易のために維持されなければならないが、家族が一緒に使うための通貨となる新たなリラを流通させる必要がある」と述べた。

ベルルスコーニ氏によると、ユーロ創設はイタリアの国有資産の約半分が失われる原因となり、イタリア人の 4 人に 1 人を貧困状態にして貧困層を著しく増加させた。

野党「フォルツァ・イタリア」を率いるベルルスコーニ氏は、「そのため我々のプログラムでは、より少ない税金、より少ない政府、より少ない欧州が提案されている」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/dNU6>

ダマスカスで再び爆発

(スプートニク 2017 年 03 月 15 日 23:08)

◦ Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/l1ECsH>

15 日、シリアの首都ダマスカスで同日二度目の爆発があった。SANA 通信が報じた。SANA 通信によると、爆発があったのはダマスカス北西部のアル・ラブワ。一度目の爆発は、ダマスカスの裁判所で起こり、最新情報によると、31 人が死亡、60 人が負傷した。

twitter.com/ <https://goo.gl/edV36m>

シリアでは 6 年前の 2011 年 3 月 15 日に騒乱が始まった。シリアで様々な武装グループに属する暴徒集団が、シリア政府軍に抵抗している。国連のデータによれば、内戦期間中に、50 万人以上の人々が亡くなった。

ロシア航空宇宙軍は、昨年 9 月 30 日から、テロリストらの陣地に対するピンポイント攻撃を開始した。パイロット達は、テロ集団にかなりの損失を与え、彼らの補給線を絶った。そして 3 月 15 日、プーチン大統領は、主要な任務は遂行されたとして、主な部隊のシリアからの引き揚げを指示した。

なおシリア国内では 2016 年 2 月 27 日から、停戦体制が機能している。これについての合意は、ロシア及び米国仲介のもと、政府軍と在野勢力との間で結ばれた。ただ、国連安全保障理事会によりテログループと認定された「ダーイッシュ (IS、イスラム国)」などのグループは、休戦の対象とはならない。

<http://sptnkne.ws/dNVz>

中国、第5世代戦闘機を軍に正式採用

(スプートニク 2017年03月15日 22:31)

© REUTERS/ China Daily 1/2 <https://goo.gl/5KiQSW>

「ブラックイーグル」としても知られる中国の戦闘機 J-20 が、中国軍に正式採用された。ロイター通信が報じた。

中国は米国に続いて第5世代戦闘機を有する世界で2つ目の国となった。なお J-20 についてはまだあまり知られていない。開発、製造を担当しているのは航空機製造会社「成都飛機工業公司」。開発は1990年代末に始まったとみられているが、画像が掲載されたのは2010年のことで、初飛行は2011年1月だった。

今も情報は少なく、専門家らは全長およそ21~23メートル、翼幅およそ14メートルとの見方を示している。重量は17トン、あるいは20トンという情報もある。敵のレーダーに探知されにくくするため、武器は戦闘機の内部コンパートメントに隠されている。マスコミが入手した情報によると、J-20の主な課題は太平洋のパトロールで、対艦ミサイルなどが搭載されるという。

<http://sptnkne.ws/dNWs>

米国は日本の自衛隊を北朝鮮上陸作戦に向け準備する可能性がある

(スプートニク 2017年03月15日 23:00 ドミトリー・ヴェルホトウロフ)

© 写真: Public domain <https://goo.gl/mibHJb>

朝鮮半島の状況は、これまでに比べはるかに危険であるように見える。韓国は、パク・クネ（朴槿恵）氏が大統領を罷免され、政権の移行期にあるし、マレーシアではキム・ジョンナム（金正男）氏殺害をめぐるスキャンダルが続いている。そして朝鮮半島では、これまで前例のない規模の軍事演習 Key Resolve/Foal Eagle が展開されている。そこでは米特務部隊が公然と、北朝鮮の指導者キム・ジョンウン（金正恩）委員長殲滅に向けた技術に磨きをかけている。北朝鮮は当然ながら、こうした事に対し反発し、最新鋭ミサイルの度重なる打上げ実験や準備中の核実験により答えている。

しかしこうした状況に加えて、日米の軍事活動が積極化している点にも関心を向けるべきだろう。これは、米国が実際に、北朝鮮に対する軍事作戦を計画しており、それに日本の自衛隊が加わる可能性のあることを示唆しているからだ。

2017年1月すでに、米海兵隊の F-35B が10機、移された。この最新鋭ステルス戦闘機は、陸上の基地からも又ワスプ級強襲揚陸艦タイプの航空母艦からも飛び立つことができる。軍艦自体そして、F-35B さらに6機は、今年夏に日本に派遣されるが、それが早まる可能性もあると見られている。こ

れで米国は、北朝鮮のすぐ近くの在日米軍基地に、ピョンヤンまで飛んでゆける最新鋭戦闘機による飛行大隊を置くことになる。こうした出来事自体、大変重要な意味を持っている。

また毎年行われる演習と共に、非常に特殊な演習もいくつか行われた。例えば韓国では、すでに昨年10月、米韓演習 Teak Knife が実施され、そこでは北朝鮮の核心施設、ミサイル及び核施設の奪取と破壊を目的にしたスキルが磨かれた。そして今度は3月の初めに日本で、Teak Knife よりもさらに興味深い日米演習が始まった。この演習について、知られていることは多くない。新潟と群馬両県の演習場を舞台に、米軍支援の下、海兵隊用の航空輸送機 MV-22 オスプレイ 6機を使って、自衛隊のパラシュート降下部隊員の訓練が行われるようだが、この乏しい情報からも、いくつかの結論を出すことができる。

まず第一に、上陸訓練は、正確には日本の防衛のためのものではない。日本の自衛隊の課題は、敵の艦隊に対する反撃、そして日本の領土に上陸した敵の海兵隊員の侵攻阻止と殲滅にこそ、あるべきだからだ。しかし今回の演習プログラムは、全く別で、日本以外の場所に上陸しようというものだ。

第二点として、新潟、群馬両県は、山岳地帯を持ち、そもそも群馬県には海への出口さえない。海岸部やその周辺の地形は、極めて北朝鮮東部海岸の多くの地域、とりわけ非武装地帯付近の地形を思わせる。新潟県沿岸部と海から離れた群馬県にある2つの演習場での訓練は、明らかに、上陸ばかりでなく陸地内部の山岳地帯への攻撃を念頭に置いてのものだ。また米国と日本の艦隊が、東シナ海で合同演習を行っていることが、ついに明らかになった。おまけに米国側からは、コリア海域における米国の主要な攻撃力である空母カール・ヴィンソン (Carl Vinson) が参加した。

このように、日本の陸上及び海上自衛隊は、国外での作戦に向けた準備をし始めた。今回、北朝鮮東部沿岸部の諸条件に最大限近い場所が、訓練の場選ばれた以上、想定されているのは朝鮮半島である。この事は、米軍司令部には、北朝鮮に対する軍事作戦計画（その事は公にされていない）があり、米軍が、在日米軍基地と自衛隊の積極的利用を暗に考えていることを物語っている。米軍司令部は、大規模な軍事紛争が起きた場合、韓国軍は、北朝鮮軍（朝鮮人民軍）の攻撃により撃破されるか、緊急援助を求めるほどの損害をこうむると考えているようだ。それで、米軍の移動には時間がかかるため、日本の自衛隊が予備力とみなされているのだ。しかし、自衛隊が最初から、例えば上陸作戦から、紛争に参加する場合も考えられる。

その際、日本が戦争に加わる口実を、米国は長く模索する必要はないだろう。北朝鮮は先に、在日米軍基地をミサイル攻撃する用意をしていると言明した。この事自体、十分な口実となる。それゆえ日米合同の軍事作戦が実現し得るか否かは、単に政治的意志の問題である。もし関係当事者すべてが、平和的手段で問題を解決できなければ、手持ちのあらゆるカードを切る可能性も出てくるに違いない。

<http://sptnkne.ws/dNWN>

米議員、なぜロシアは米国の友人ではなのかを説明できず

(スポーツニク 2017年03月15日 23:35)

© Fotolia/ Gary <https://goo.gl/IvRdRt>

米国のエリック・スワルウェル議員は、ロシアを米国の「友人」と考えることはできないということを証明しようとして、気まづい状況に陥った。

スワルウェル議員はFoxニュースの番組で、なぜ米国とロシアの間では緊密な協力が不可能なのかを説明し始め、「残虐行為」と人権侵害でロシアを非難した。

これを受けて番組の司会者は、そのような理論に従った場合、なぜスワルウェル議員が米国とサウジアラビアの同盟関係には異議を唱えないのか関心を持った。この質問はスワルウェル議員を行き詰まらせ、議員は「私はロシアを専門としている。全ての時間をそれに費やしている」と急いで自分を正当化した。

<http://sptnkne.ws/dNYf>

ダマスカスでさらに2回の自爆テロ

(スポーツニク 2017年03月16日 03:14)

© Sputnik/ Khaled Al-Khateb <https://goo.gl/dXuJlz>

レバノンのテレビ局アル・マナールは、シリアの首都ダマスカスで15日、さらに2回の自爆テロがあったと伝えた。なお犠牲者に関する情報は今のところ伝えられていない。ダマスカスでは同日、裁判所などで自爆テロが発生していた。新たな爆発があったのは、ダマスカス北部のアルマッザとルクヌッディーン。その他の詳細や、死傷者に関する情報は今のところ伝えられていない。

先に、シリアの首都ダマスカスの裁判所で大きな爆発があった。その後、ダマスカスで同日2度目の爆発があった。

<http://sptnkne.ws/dNZU>

バグダッドで爆発、18人死亡、22人負傷【動画】

(スポーツニク 2017年03月16日 03:14)

© REUTERS/ Khalid al Mousily <https://goo.gl/U9pJkB>

バグダッドで爆発、18人死亡したほか、22人負傷。スポーツニクの記者が、治安機関の情報を引

用して伝えた。なおイラクのマスコミは、バグダッドから 147 キロのティクリートでも自動車が爆発したと報じている。

twitter.com/ <https://goo.gl/DFSUR7>

<http://sptnkne.ws/dPbf>

ロシア情報員ら 4 人起訴 米、Yahoo 情報流出で

(スプートニク 2017 年 03 月 16 日 05:33)

米検索大手 Yahoo! の利用者アカウントに関する 5 億人分の個人情報 が 2014 年に盗まれた事件で、米司法省は 15 日、ロシア情報機関要員やハッカーら 4 人の起訴を発表した。米がロシア政府関係者を起訴する初のサイバー犯罪。共同通信が報じた。

罪状はコンピューター詐欺、企業秘密窃盗などで、起訴されたのはロシア情報機関の連邦保安局 (F S B) メンバー 2 人と、ロシア側に雇われたハッカー 2 人。ハッカー 1 人はカナダで逮捕された。

2016 年 9 月、ハッカーが、検索エンジンやメールなどのインターネット関連のサービスを提供する Yahoo! のユーザー 5 億人のデータを盗んでいたことが分かった。

<http://sptnkne.ws/dPdg>

ティラーソン米長官、初来日 今日、日米外相会談で北朝鮮対応協議へ

(スプートニク 2017 年 03 月 16 日 04:03)

◦ AP Photo/ Evan Vucci <https://goo.gl/aNQpf8>

安倍晋三首相と岸田文雄外相は 16 日午後、初めて訪日したティラーソン米国務長官とそれぞれ東京都内で会談する。主要議題になるのは、弾道ミサイル発射を繰り返す北朝鮮への対応、圧力強化が必要だとの認識で一致する見通しだ。共同通信が報じた。

地域情勢についても意見交換する狙いがある。岸田氏とティラーソン氏は会談後、共同記者会見に臨む。

外相会談では、2 月の安倍首相とトランプ米大統領の会談で申し合わせた外務・防衛担当閣僚による日米安全保障協議委員会 (2 + 2) の開催日程を協議。北朝鮮に対し、日米韓 3 カ国が協調して対処する方針を確認する。

外相会談後、ティラーソン氏は安倍首相を表敬訪問。夜には日米外相が夕食を共にする。ティラーソン氏は17日午前日本を出発し、次の訪問国の韓国へ向かう。

<http://sptnkne.ws/dPnn>

英国はEUからさらに離れ、スコットランドは英国からさらに離れる

(スプートニク 2017年03月16日 09:30)

英国のEU離脱手続きは3月末に始まる。英国のメイ首相が発表した。英国は2019年春にEUから離脱する見込み。

スコットランドのスタージョン首相は先に、スコットランド人の大半が英国のEU離脱を支持しなかったため、2018年から2019年にスコットランド独立の是非をめぐる2度目の住民投票の実施を要求した。

英ストラスクライド大学のジョン・カーティス教授は、ラジオ「スプートニク」の番組で、「ロンドンがこのような介入を喜ばないのは明白だ。なぜならEU加盟国が、英国のどこか一部がいずれにせよEUに残る可能性を記憶するからだ。しかし、ここで述べておく必要があるのは、欧州委員会の一部のメンバーとスペイン政府が、独立したスコットランドはEUへの加盟を新たに申請しなければならないと述べたことだ。とにかくロンドンはずっとその立場が交渉で弱くなることを懸念しており、2つ目に住民投票の結果の争いに巻き込まれるのを望んでいない」と語った。

23日、英国でEU離脱の是非を問う国民投票が実施された。24日に発表された公式情報によると、英国国民の51.9%がEU離脱を支持した。

<http://sptnkne.ws/dPnq>

「スプートニク」編集長：まもなくロシアのジャーナリストたちの「公開処刑」が始まる

(スプートニク 2017年03月16日 10:28)

◎ Sputnik/ <https://goo.gl/kpdWVN>

ロシア国営のニュース専門局「ロシア・トゥデイ (RT)」及び通信社「スプートニク」のマルガリータ・シモニャン編集長は、米民主党のジャンヌ・シャヒーン上院議員のRTの活動に関する法案について、まもなくロシアのジャーナリストたちを「公開処刑し始めるだろう」とコメントした。

先にポリティコ紙は、シャヒーン氏がRTに関する調査を行うための更なる権限を米司法省に与える法案を提出する意向だと報じた。シャヒーン氏は、RTが外国人エージェントの登録に関する

既存の法律に違反しているのではないかと疑っているという。

シモニャン編集長は「スプートニク」に、「このままだと、まもなく我々のジャーナリストたちを公開処刑し始めるだろう」と語った。

先の報道では、マルガリータ・シモニャン編集長は、ロシアのテレビ局NTVのインタビューで、欧米諸国でのロシアメディアに対する圧力の逆効果について語り、RTやスプートニクを罵ろうとするほど我々の宣伝になると語った。

<http://sptnkne.ws/dPnr>